

N E C

Express5800 シリーズ

ESMPRO<sup>®</sup>/AC Lite

Ver4.1

UL1046-009

セットアップカード

# ごあいさつ

このたびは ESMPRO/AC Lite Ver4.1 をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

本書は、お買い上げ頂きましたセットの内容確認、セットアップの内容、注意事項を中心に構成されています。 ESMPRO/AC Lite Ver4.1 をお使いになる前に、必ずお読みください。

Windows®、Windows Server® 2008 R2、Windows Server® 2008、Windows® 7、Windows Vista®、Windows Server® 2003 R2、Windows Server® 2003、Windows® XP、Windows® 2000 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

ESMPRO®は日本電気株式会社の登録商標です。CLUSTERPRO®は日本電気株式会社の商標です。Smart-UPS®、PowerChute™ は、American Power Conversion Corporation の商標または登録商標です。

# 目次

1. 製品内容 .....	4
2. セットアップの準備 .....	5
2.1 ESMPRO/AC Liteのセットアップ環境 .....	5
2.1.1 ハードウェア .....	5
2.1.2 ソフトウェア .....	5
2.2 ESMPRO/AC Liteの構成例 .....	6
3. セットアップの方法 .....	7
3.1 ESMPRO/AC Liteのインストール .....	7
3.2 SNMPカードの設定 .....	15
3.2.1 SNMPカードのネットワーク設定 .....	15
3.2.2 Webによる設定 .....	16
3.3 AMC機能 .....	26
3.4 ESMPRO/AC Liteのアンインストール .....	37
4. スケジュール運転の設定 .....	43
4.1 制御端末のスケジュール設定 .....	43
4.1.1 スケジュールシャットダウン時の動作について .....	48
5. 注意事項 .....	49
5.1 セットアップ関連 .....	49
5.2 運用関連 .....	50
5.3 通信ポート番号関連 .....	52
5.4 共有フォルダ関連 .....	52
5.5 AC-LINK関連 .....	52
6. 障害発生時には .....	53
6.1 ESMPRO/AutomaticRunningControllerログ .....	53
6.2 イベントログ .....	55
6.3 バージョン情報 .....	56
6.4 SNMPカードからの情報採取 .....	57
6.4.1 SNMPカードの情報（A） .....	58
6.4.2 SNMPカードの情報（B） .....	61

# 1. 製品内容

ESMPRO/AC Lite Ver4.1 のパッケージの内容は、次の通りです。  
まず、添付品が全部そろっているかどうか、確認してください。

ソフトウェアライセンスキー	1 部
ソフトウェアのご使用条件	1 部
ESMPRO/AC Lite Ver4.1 について	1 部
ESMPRO/AC Lite Ver4.1 CD-ROM	1 部

## 2. セットアップの準備

ESMPRO/AC Liteをご使用になるためには、コンピュータの環境を準備していただく必要があります。本章の要件を満たした後にESMPRO/AC Liteのセットアップを実行してください。セットアップの方法は、「3. セットアップの方法」で詳しく説明しています。

### 2.1 ESMPRO/AC Lite のセットアップ環境

ESMPRO/AC Lite をセットアップするためには、次の環境が必要です。

#### 2.1.1 ハードウェア

##### <サーバ>

対象機種	: Express5800/100 シリーズ、iStorage NS シリーズ
メモリ	: 5. 5 MB 以上
固定ディスクの空き容量	: 1 8. 0 MB 以上

##### <クライアント>

対象機種	: PC98-NX シリーズ、PC-AT 互換機、Express5800 シリーズ
メモリ	: 2. 5 MB 以上
固定ディスクの空き容量	: 6. 5 MB 以上

#### 2.1.2 ソフトウェア

##### <サーバ>

###### OS

Windows Server 2003 Standard Edition  
Windows Server 2003 R2 Standard Edition  
Windows Server 2008 Standard  
Windows Server 2008 R2 Standard  
Windows Storage Server 2008

\* AMC(AC Management Console)機能に関して

Smart-UPS 相当無停電電源装置に SNMP カードを使用して、AMC(AC Management Console)機能によるサーバ構成を構築する場合、ネットワークプロトコルに SNMP がインストールされている必要があります。

##### <クライアント>

###### OS

Windows 2000 Advanced Server/Server/Professional  
Windows XP Professional/Home Edition  
Windows Server 2003  
Standard Edition/Enterprise Edition/Datacenter Edition/Small Business Server  
Windows Server 2003 R2 Standard Edition/Enterprise Edition/Small Business Server  
Windows Vista Business  
Windows Server 2008 Standard/Enterprise  
Windows 7 Professional  
Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise

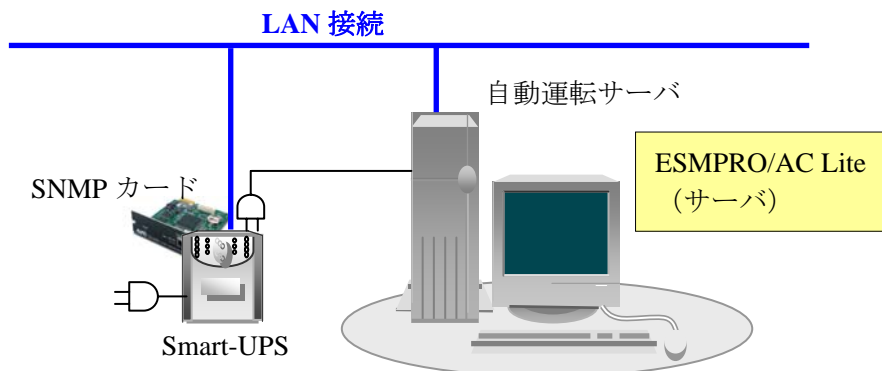
最新の動作環境については、下記サイトでご確認ください。

ESMPRO/AutomaticRunningController ([http://www.nec.co.jp/esmpro\\_ac/](http://www.nec.co.jp/esmpro_ac/))

## 2.2 ESMPRO/AC Lite の構成例

ESMPRO/AC Lite は 1 台構成のサーバのみをサポートしております。

Smart-UPS (SNMP) 構成 (UPS LAN接続)



### ※注意

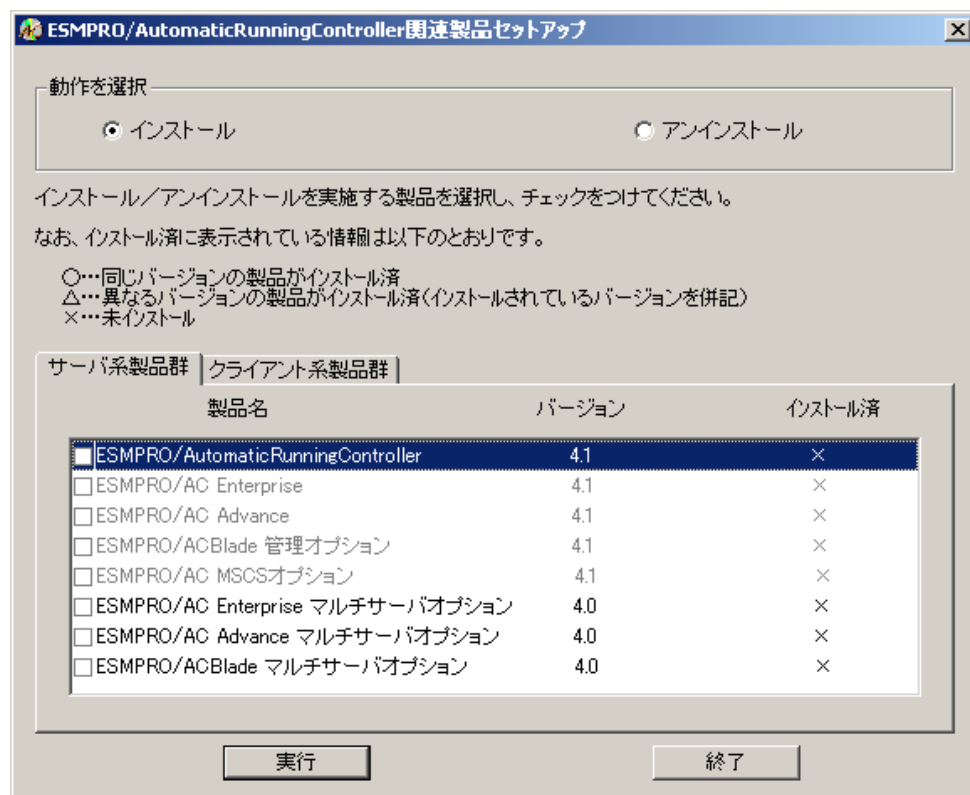
以下のようなシステム構成は、ESMPRO/AC Lite ではサポートしておりません。

- ・複数台のサーバ、UPS にて構成される、マルチサーバ構成のシステム
- ・周辺装置(iStorage 装置など)用の別 UPS を備えたシステム
- ・サーバの冗長電源を備え、複数台の UPS それぞれにサーバの冗長電源のケーブルを接続したシステム

## 3. セットアップの方法

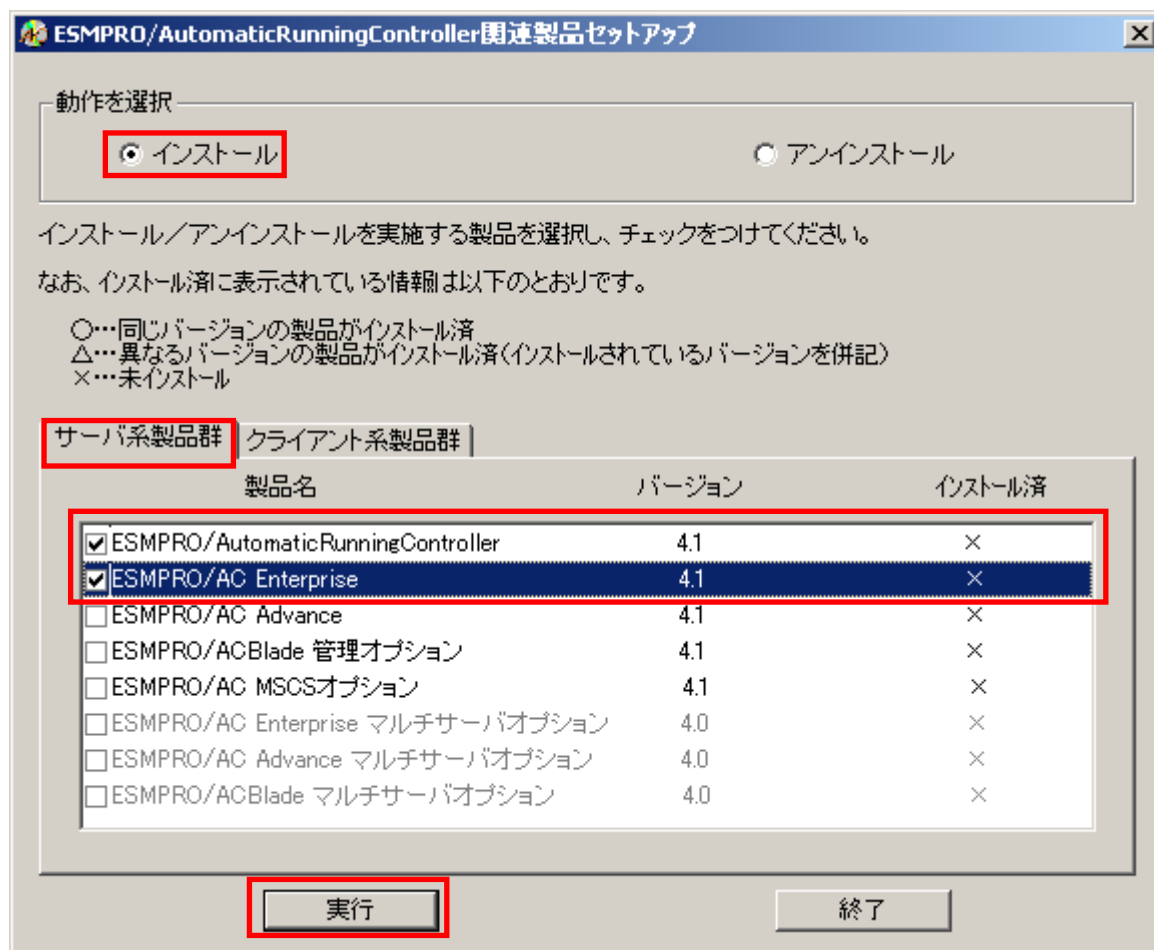
### 3.1 ESMPRO/AC Lite のインストール

- (1) AdministratorもしくはAdministrator権限のあるユーザでコンピュータにログオンし、ラベルに『ESMPRO/AC Lite Ver4.1』と記載されているCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
- (2) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。



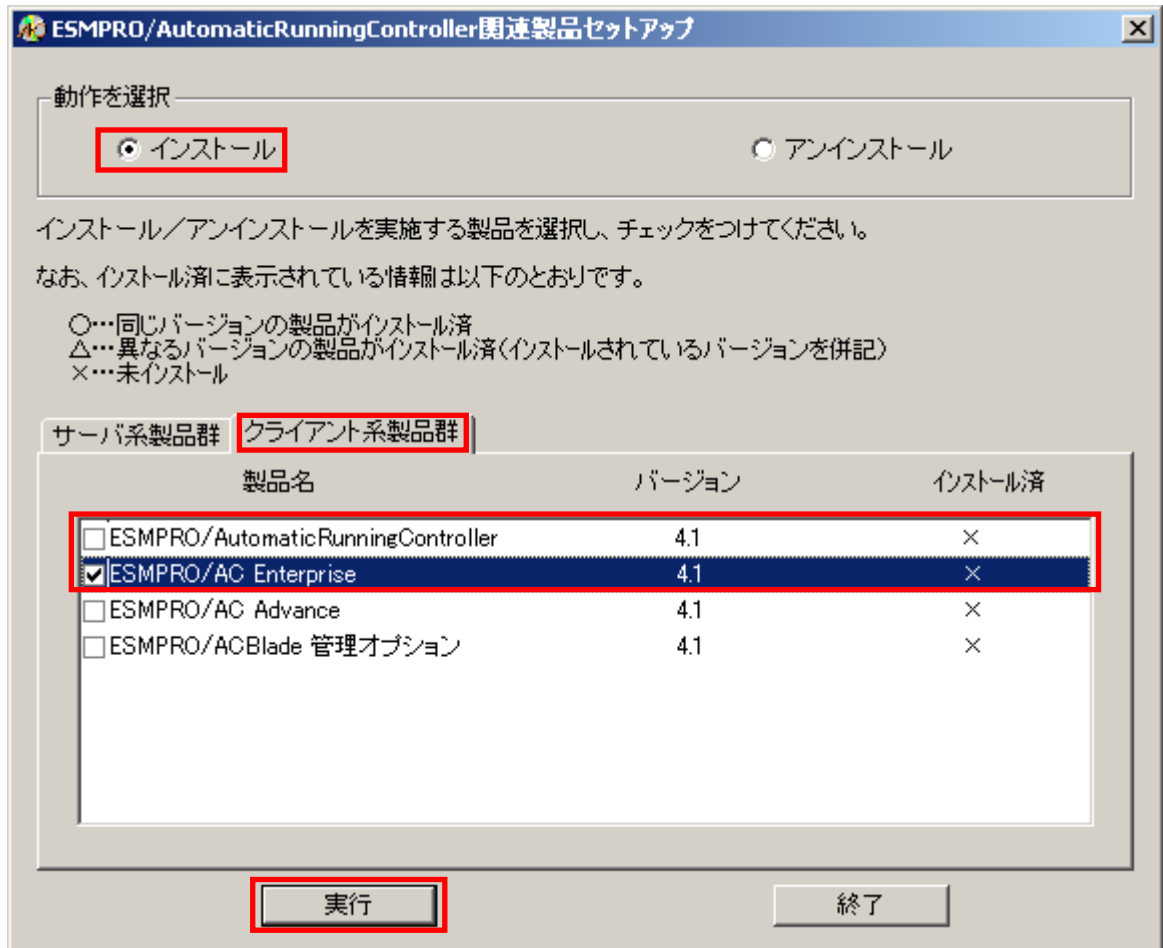
(3) 「ESMPRO/AC Lite」のセットアップには「サーバ系製品」と「クライアント系製品」があります。

- ◆ ESMPRO/AC Liteのサーバ系製品をインストールする場合、「動作を選択」のラジオボタンで「インストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中からESMPRO/AutomaticRunningControllerのチェックを有効にし、その後にESMPRO/AC Enterpriseチェックも有効にしてください。



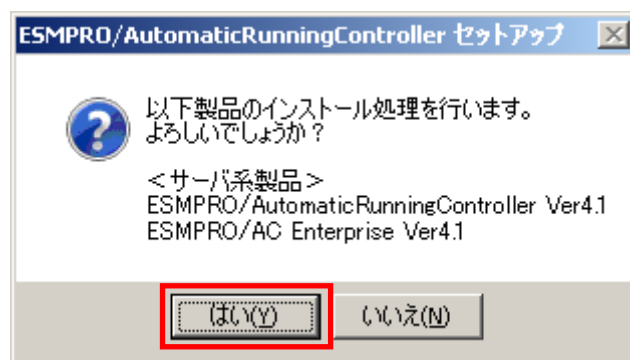


- ◆ ESMPRO/AC Liteのクライアント系製品をインストールする場合、「動作を選択」のラジオボタンで「インストール」を選択したあと、クライアント系製品群タブの中からESMPRO/AutomaticRunningControllerまたはESMPRO/AC Enterpriseを選択し、チェックを有効にします。  
(「ESMPRO/AutomaticRunningController」、「ESMPRO/AC Enterprise」以外のクライアント系製品は未サポートですので、選択しないでください。)

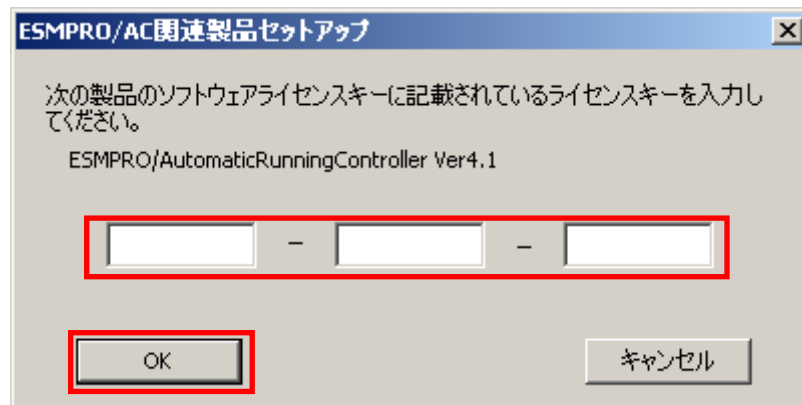


(4) 「実行」ボタンを選択します。

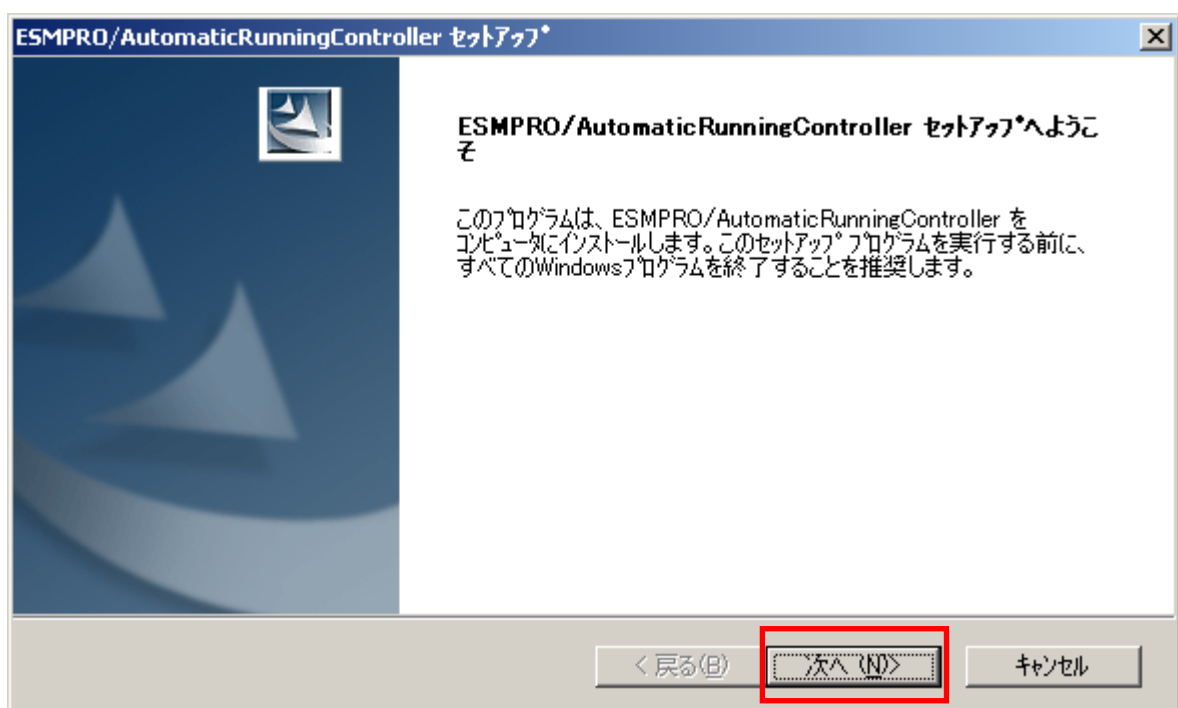
(5) 選択した製品のインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。



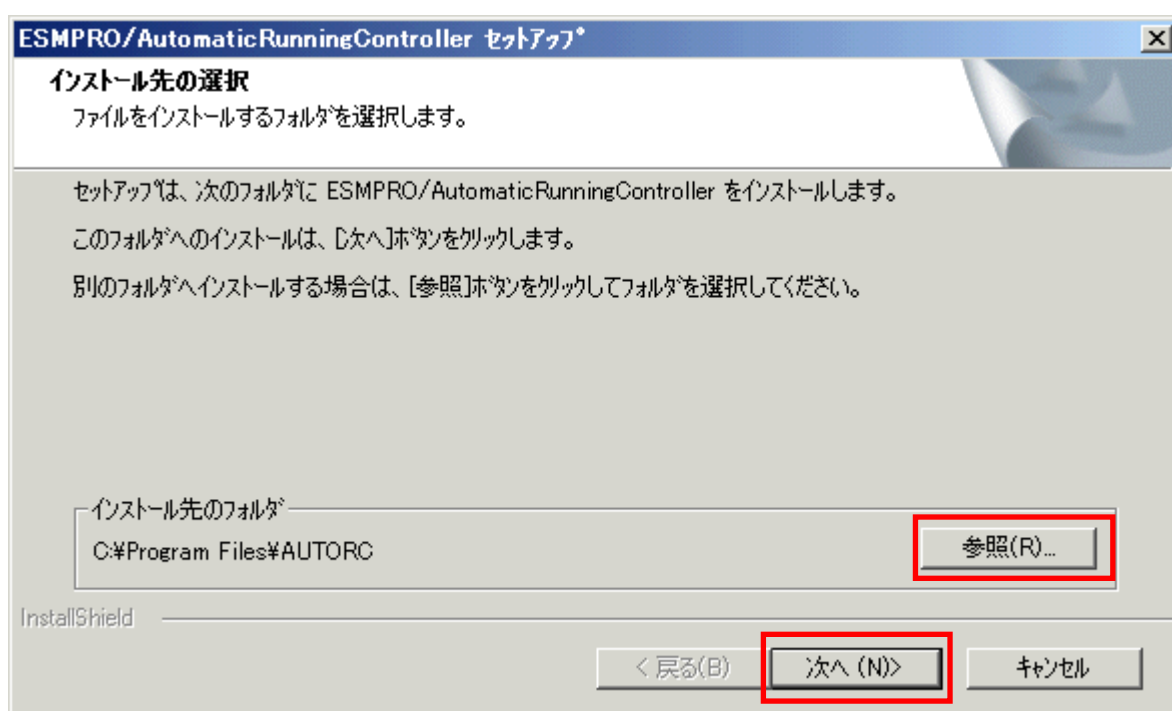
- (6) サーバ系製品を選択した場合、ライセンスキーの入力が促されますので、ライセンスシートのライセンスキー①を入力し、「OK」ボタンを選択します。



- (7) 入力したライセンスキーが認証されると、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのセットアップが開始されますので、「次へ」ボタンを選択します。

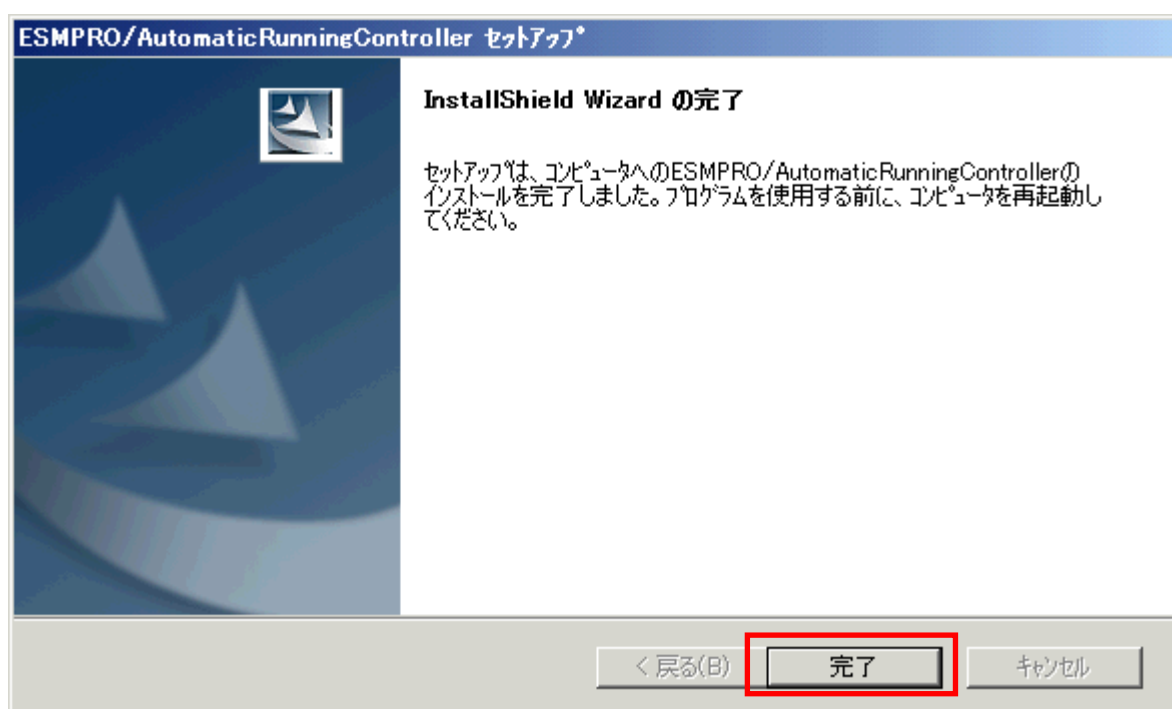


- (8) 続いて、インストール先を選択します。表示されているフォルダとは別のフォルダにインストールする場合は、「参照」ボタンをクリックしてインストール先のフォルダを選択します。インストール先が決定したら、「次へ」ボタンを選択します。

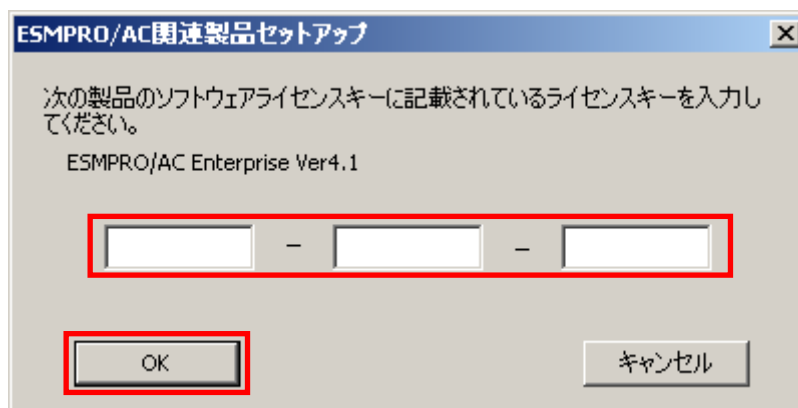


- (9) ファイルの転送が開始されます。

- (10) 次の画面が表示されたら、インストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。

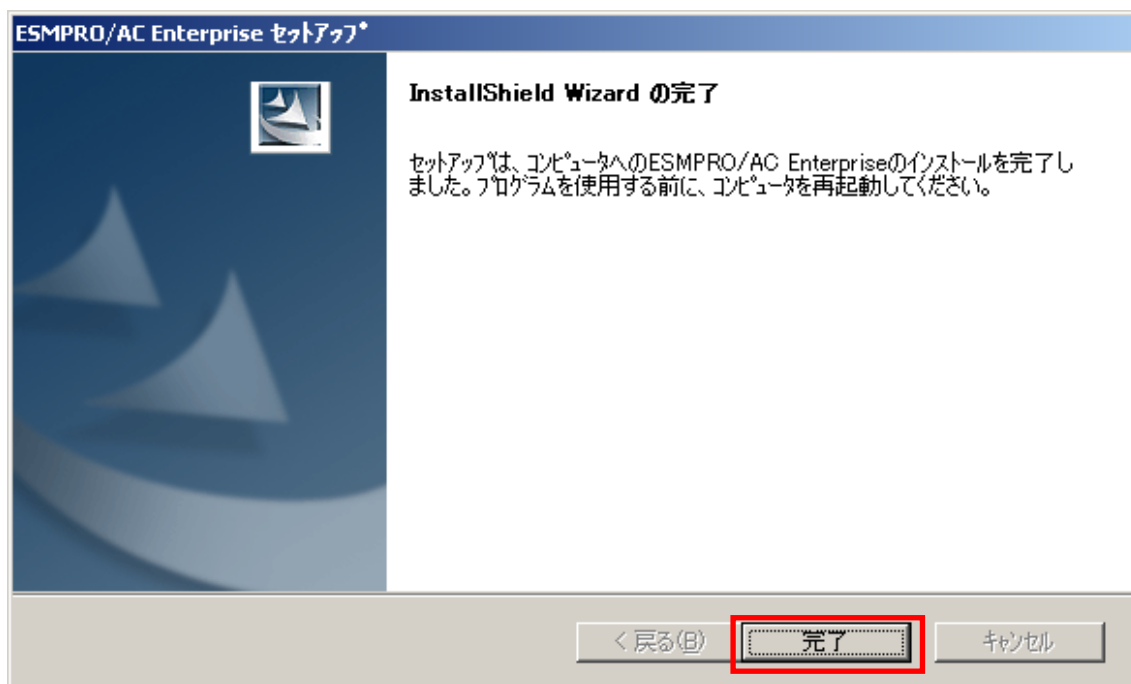


- (1 1) 引き続き、ESMPRO/AC Enterpriseのライセンスキーの入力画面が表示されますので、ライセンスシートのライセンスキー②を入力し、「OK」ボタンを選択します。



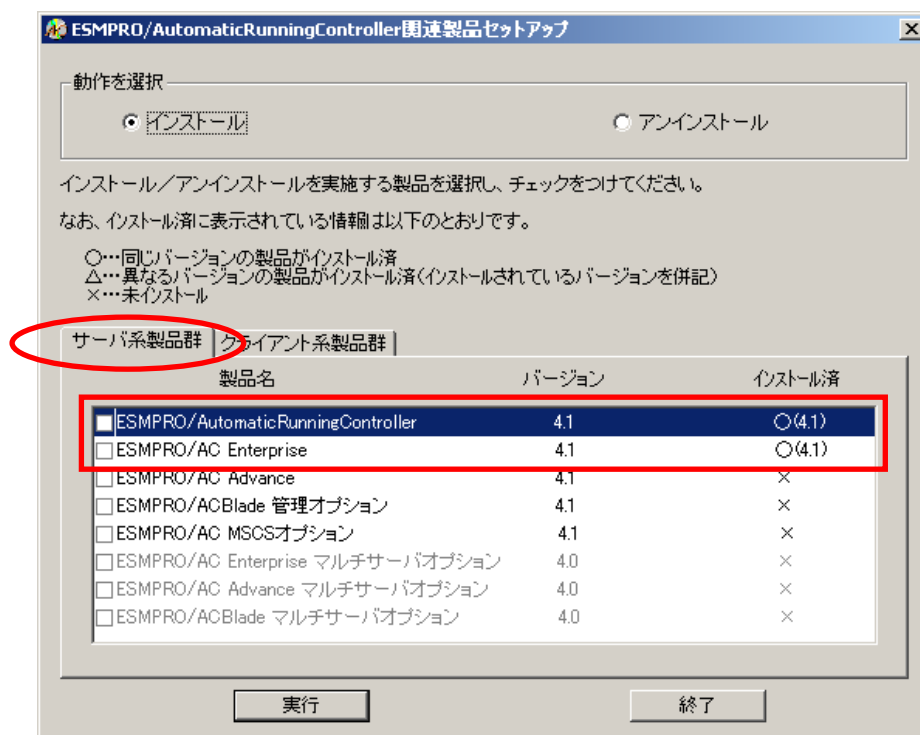
- (1 2) ファイルの転送が開始されます。

- (1 3) 次の画面が表示されたら、インストールの完了です。「完了」ボタンを選択します。

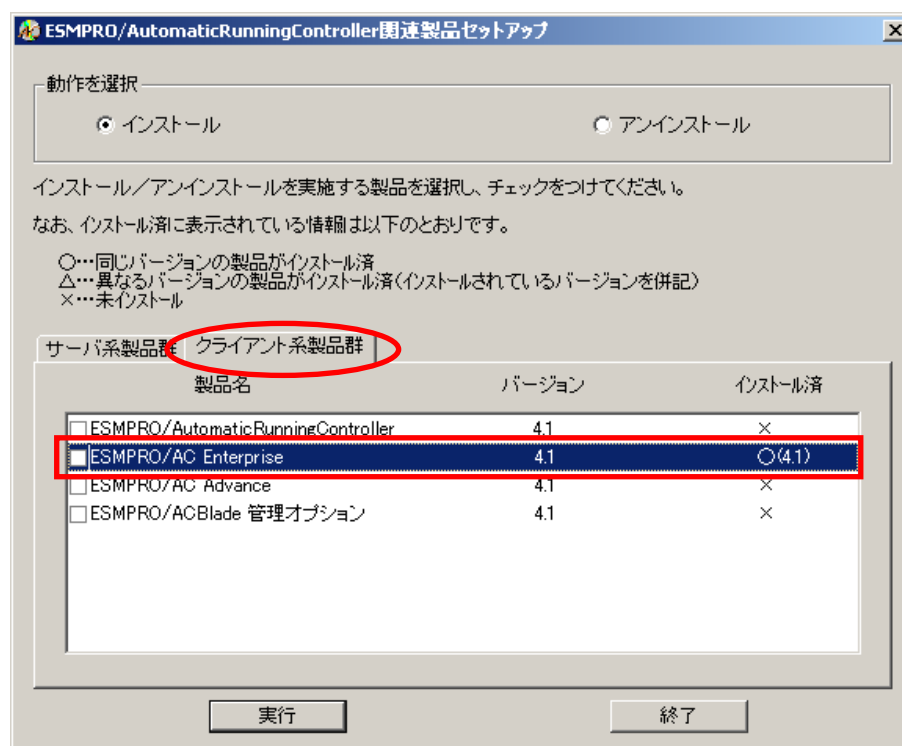


- (14) 最初の画面に戻り、ESMPRO/AutomaticRunningController、ESMPRO/AC Enterpriseのインストール済欄に「○」およびバージョンが表示されていることを確認します。

＜サーバ系製品インストール後の画面＞



＜クライアント系製品インストール後の画面＞



ESMPRO/AC Enterpriseクライアントツールの使用方法については、スタートメニューの[ESMPRO\_AC\_E Client]→[マルチサーバ構成データ編集]を起動した後の「ヘルプ」にてご確認ください。

## 注意

- セットアップの実行中に＜終了＞及び＜キャンセル＞ボタンを押すと、セットアップ中止の確認のメッセージが表示されます。そのメッセージボックスで＜終了＞ボタンを押すと、セットアップは中止されます。その場合、途中まで転送されたファイルの削除は行われませんのでご注意ください。
- Windows ファイアウォール機能が有効な環境において利用する場合、Windows ファイアウォールの設定画面の[例外]タブの「プログラムの追加」から"AC Management Console"のプログラム(amc.exe)を登録してください。

## 3.2 SNMP カードの設定

AMC 機能（マルチサーバ・冗長電源環境の管理機能）を使用する場合は、Smart-UPS 相当無停電電源装置に SNMP カードを実装し制御する必要があります。

以下に、この SNMP カードのネットワーク設定、及び、Web による設定手順を記載します。

### 3.2.1 SNMP カードのネットワーク設定

UPS の電源を入れ、Network Management Card が使用する IP アドレスなどのネットワーク設定を行います。

SNMP カードの IP アドレス設定方法の詳細については、SNMP カードの製品に同梱されたドキュメントを参照して、設定を行ってください。

SNMPカードのIPアドレスを設定後、ping コマンド等にて対象のSNMPカードと通信可能かどうか確認し、通信可能となりましたら「3.2.2 Webによる設定」へ進んでください。

### 3.2.2 Web による設定

SNMP カードの IP アドレス設定終了後、設定が正常であれば、サーバから UPS の IP アドレスに Internet Explorer 等でアクセスすると以下のようなログイン画面が表示されます。

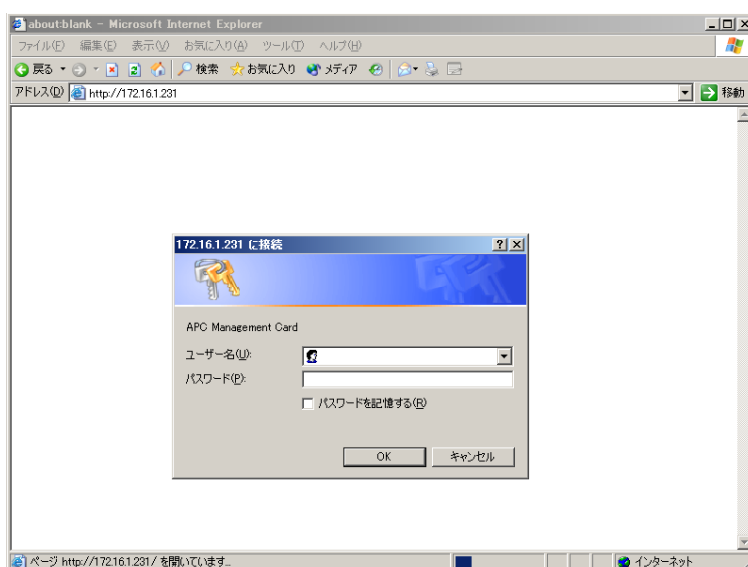
(A)のログイン画面が表示された場合は「3.2.2.1 Web画面による設定(A)」を参照してください。

(B)のログイン画面が表示された場合は「3.2.2.2 Web画面による設定(B)」を参照してください。

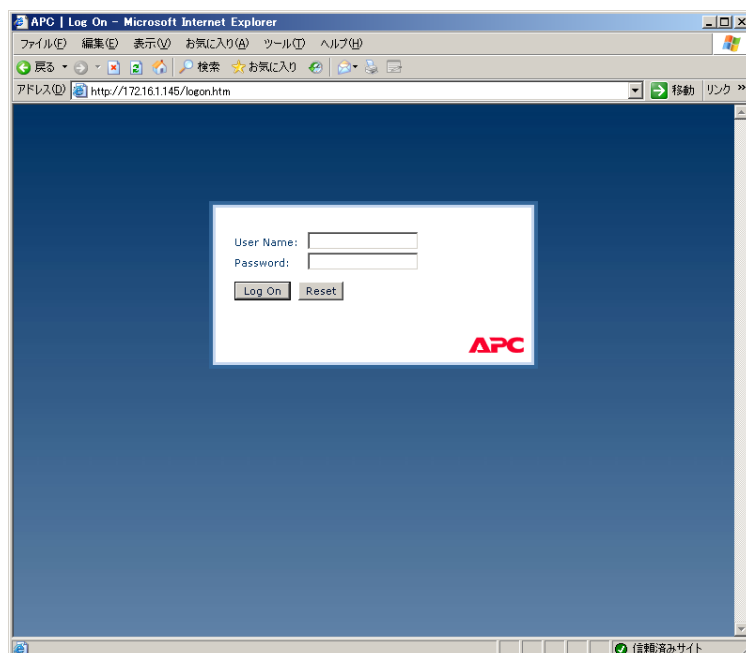
#### ※注意

Windows OSのセキュリティ設定状況によっては、「5.1 セットアップ関連」の(3)に記載されている Internet Explorerのセキュリティ設定を行わないとログイン画面が表示されません。

(A)



(B)





### 3.2.2.1 Web 画面による設定(A)

(A)のログイン画面にてログインすると、以下のような Web 画面になります。

UPS の IP アドレスを確認してください。

**注意：**

Smart-UPSの機種名が表示されることをご確認ください。  
もし、表示されていない場合は、SNMPカードが接触不良になっている可能性が考えられますので、以下の操作を行なってください。

- ①UPSの電源をOFFし、SNMPカードをさし直してみる。
- ②カードをさし直しても状態が変わらない場合は、リセットしてください。  
リセットしますと、情報の再設定が必要となりますのでご注意ください。

APC Network Management Card - Microsoft Internet Explorer

アドレス http://172.16.1.122/arakfran.htm?0:0

Network Management Card

IP: 172.16.1.122

Smart-UPS 3000 RM

Events

Data

Network

System

Logout

Help

Links

APC's Web

Testdrive

APC Monitor

APC www.apc.com

Summary

Status

Smart-UPS 3000 RM named UPS122

On Line

10/100 Management Card Status

Name: Unknown Date: 03/12/2007

Contact: Unknown Time: 20:18:34

Location: Unknown User: Administrator

UpTime: 0 Days 1 Hour 4 Minutes Status: OK

SNMP 関連の設定で使します

パスワードなどの設定変更で使します

信頼済みサイト

「System」 → 「Date & Time」と選択すると以下の画面になります。  
現在の日付と時刻の設定を行ってください。

◆ 日付と時刻の設定方法

下記①②のどちらかの設定方法で、日付と時刻を設定してください。

① 日付、時刻を直接入力する方法

「Set Manually」を選択し、「Date」、「Time」を入力後、「Apply」を選択してください。

② コンピュータから日付と時刻を読み出し設定する方法

「Set Manually」を選択し、「Apply Local Computer Time to Network Management Card」のチェックを有効にし、「Apply」を選択してください。

APC Network Management Card - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 検索 お気に入り

アドレス http://172.16.1.122/arakfram.htm?4:2 移動

Network Management Card

IP: 172.16.1.122

- Smart-UPS 3000 RM
- Events
- Data
- Network
- System
  - User Manager
  - Identification
  - Date & Time
  - Tools
  - Preferences
  - Links
- Logout
- Help
- Links
  - APC's Web Site
  - Testdrive Demo

**Date & Time**

**Current Settings**

Date: 03/12/2007  
Time: 20:20:00

Status: Network Time Protocol (NTP) Disabled

**System Time Configuration**

☒ **Set Manually:**

Date: 03/12/2007 (mm/dd/yyyy)  
Time: 20:20:00 (hh:mm:ss)

☐ Apply Local Computer Time to System

☐ **Synchronize with Network Time Protocol (NTP) Server**

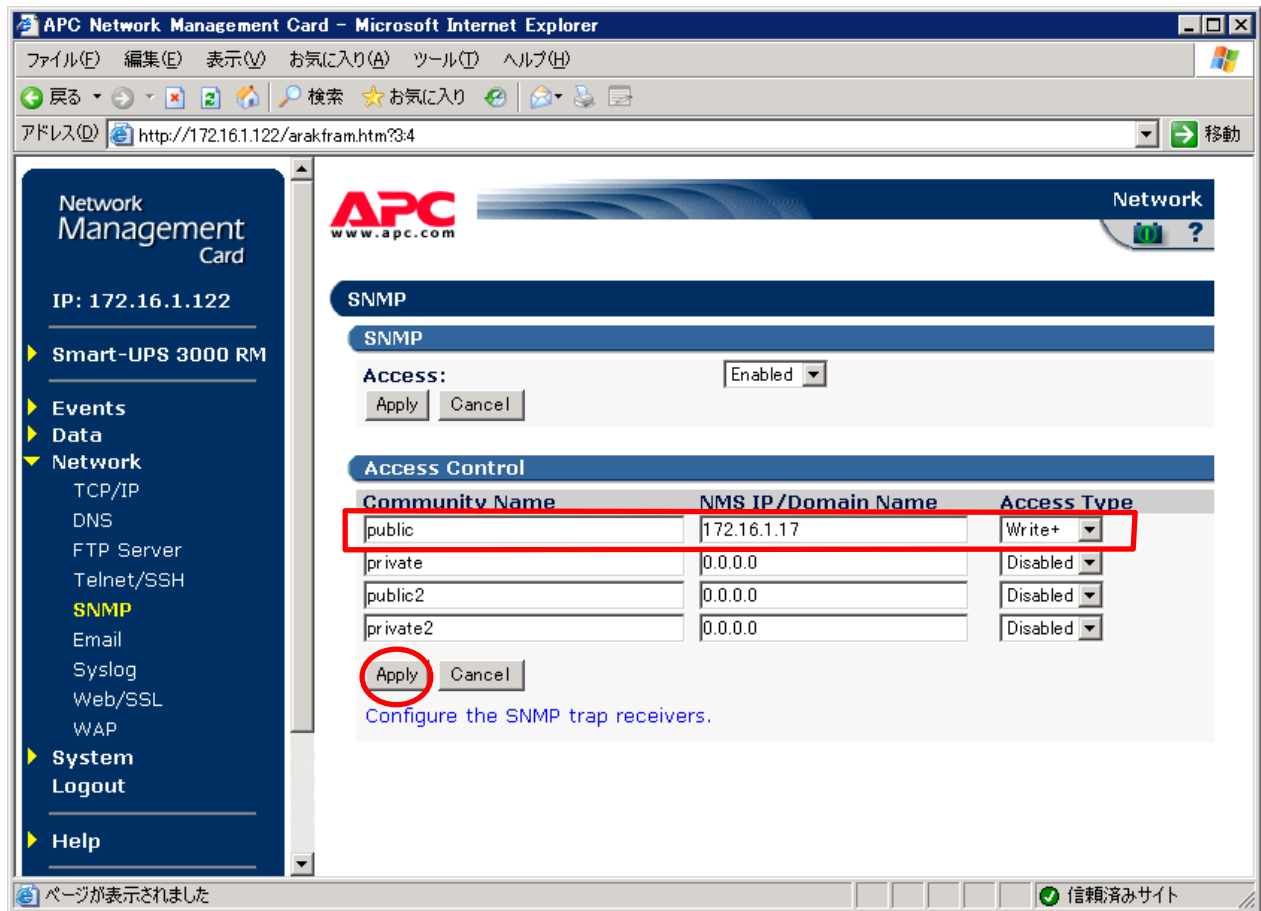
Primary NTP Server: 0.0.0.0  
Secondary NTP Server: 0.0.0.0  
Time Zone: -05:00 hours (Eastern Time)  
Update Interval: 336 (1-8760 hours)

☐ Update Using NTP Now

Apply Cancel

信頼済みサイト

「Network」→「SNMP」と選択すると以下の画面になります。  
「Access Control」に登録を行ってください。



- Community Name : SNMPで使用する識別名(通常は public)
- NMS IP : SNMPでアクセスするサーバのIPアドレス。  
基本的には制御端末のIPアドレスのみで問題ありません。  
クライアントツールから監視する場合は、クライアントのIPアドレスも登録してください。
- Access Type : 「Write+」または「Write」を選択する。  
「Write+」が選択肢に表示される場合は、「Write+」を選択する。

**注意：**

サーバが複数のLANボードがある場合や、複数のIPアドレスを持つ場合には、SNMPカードに対しアクセスする際に使用されるIPアドレスを登録してください。

サーバが複数のIPアドレスを持っている場合に、後述のAMC画面での設定で、UPS情報がSNMPにて採取できない時には、SNMPカードに登録したサーバのIPアドレス以外が実際には使われている可能性があります。SNMPカードに登録するIPアドレスをサーバの持つ別のIPアドレスに変更するなどして、実際に使用されているIPアドレスを登録してください。（登録数に問題なければ、同一サーバのIPアドレスを複数登録しても構いません。）

使用しない「Community Name」および「NMS IP」が設定されている項目の「Access Type」については、「Disabled」に設定しておいてください。

「System」 → 「User Manager」を選択すると、以下の画面になります。

APC Network Management Card - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 検索 お気に入り メディア

アドレス(AD) http://172.16.1.122/arakfram.htm?40 移動 リンク

Network Management Card

IP: 172.16.1.122

Smart-UPS 3000 RM

Events

Data

Network

System

User Manager

Identification

Date & Time

Tools

Preferences

Links

Logout

Help

Links

APC's Web Site

Testdrive Demo

APC Monitoring

APC

www.apc.com

System

User Manager

User Access

Auto Logout: 10 minute(s)

Authentication Type: Basic

Apply Cancel

Administrator

User Name: apc

Password: ●●●

Authentication Phrase: <hidden auth. phrase>

Apply Cancel

Device Manager

Access: Enabled

User Name: device

Password: ●●●

Authentication Phrase: <hidden auth. phrase>

Apply Cancel

Read Only User

Access: Enabled

User Name: readonly

Password: ●●●

セキュリティのため、デフォルトで使用しているアカウント：apc等の設定を変更しておくことをお勧めします。

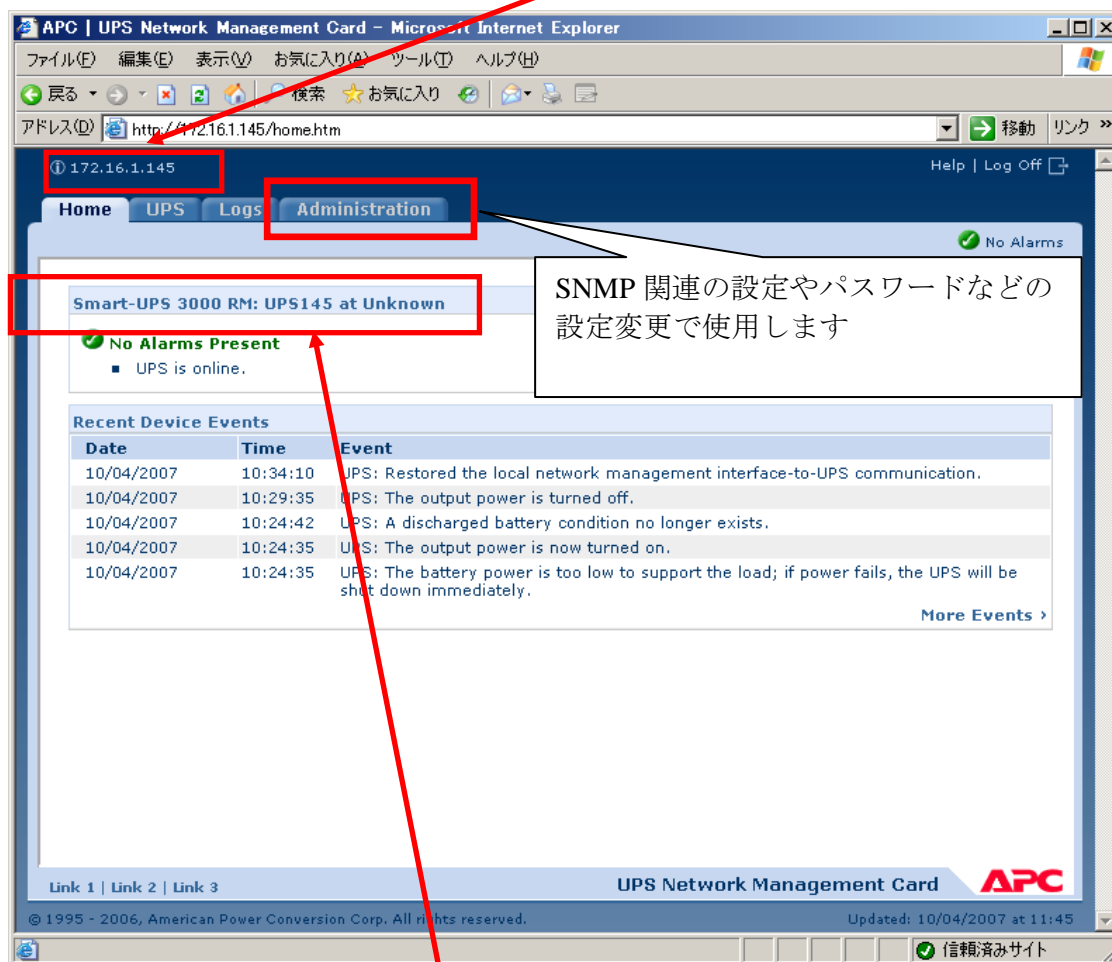
注意：変更したアカウント名・パスワードは忘れないようにしてください。

(忘れた場合、お客様ご自身によるリセット及び設定変更はできなくなります。)

### 3.2.2.2 Web 画面による設定(B)

(B)のログイン画面にてログインすると、次のような Web 画面になります。

UPS の IP アドレスを確認してください。



SNMP 関連の設定やパスワードなどの設定変更で使します

#### ※注意

Smart-UPSの機種名が表示されることをご確認ください。

もし、表示されていない場合は、SNMPカードが接触不良になっている可能性が考えられますので、以下の操作を行なってください。

- ①UPSの電源をOFFし、SNMPカードをさし直してみる。
- ②カードをさし直しても状態が変わらない場合は、リセットしてください。リセットしますと、情報の再設定が必要となりますのでご注意ください。

「Administration」のタブを選択し、「General」を選択、「Date & Time」→「mode」と選択すると以下の画面になります。現在の日付と時刻の設定を行ってください。

◆日付と時刻の設定方法

下記①②のどちらかの設定方法で、日付と時刻を設定してください。

①日付、時刻を直接入力する方法

「Manual」を選択し、「Date」、「Time」を入力後、「Apply」を選択してください。

②コンピュータから日付と時刻を読み出し設定する方法

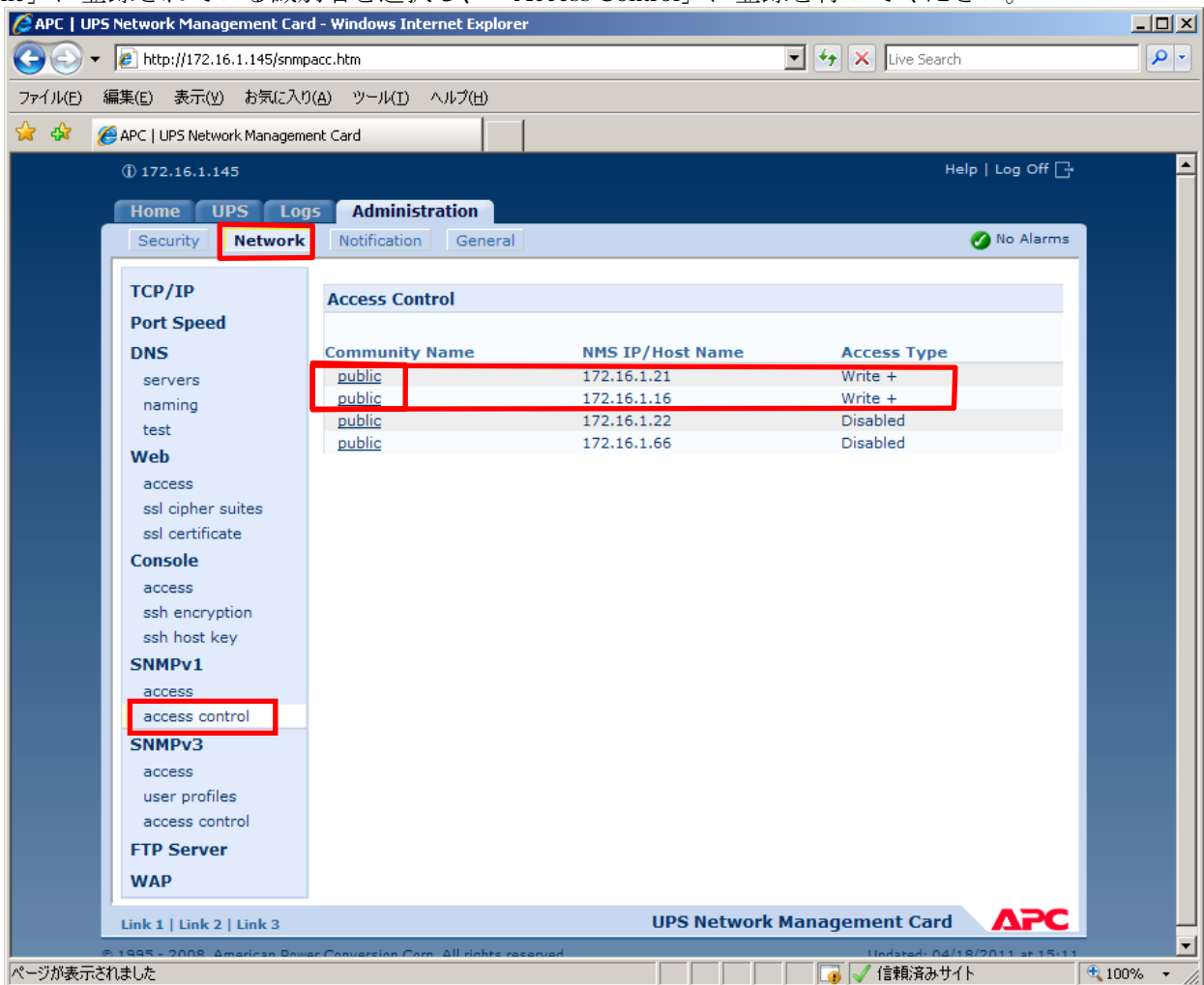
「Manual」を選択し、「Apply local computer time」のチェックを有効にし、「Apply」を選択してください。

The screenshot shows the 'Administration' tab selected, with the 'General' sub-tab active under 'Date & Time'. The 'Current Settings' section displays the current date and time. The 'System Time Configuration' section has the 'Manual' radio button selected, which is enclosed in a red rectangular box. Below it, the 'Date' and 'Time' input fields are also highlighted. The 'Apply local computer time' checkbox is unchecked. The 'Apply' button at the bottom is circled in red. The interface includes a sidebar with navigation links and a status bar at the bottom.

Current Settings	
Date:	10/04/2007
Time:	11:45:54
Status:	
Next NTP Update:	

System Time Configuration	
<input checked="" type="radio"/> Manual	
Date:	10/04/2007 mm/dd/yyyy
Time:	11:45:54 hh:mm:ss
<input type="checkbox"/> Apply local computer time.	
<input type="radio"/> Synchronize with NTP Server	
Primary NTP Server:	0.0.0.0
Secondary NTP Server:	0.0.0.0
Time Zone:	+09:00 hours (Osaka, Sapporo, Tokyo)
Update Interval:	2 hours [1-8760]
<input type="checkbox"/> Update using NTP now.	
Apply	Cancel

「Network」を選択し「SNMPv1」→「access control」と選択すると以下の画面になります。「Community Name」に登録されている識別名を選択し、「Access Control」に登録を行ってください。



Community Name : SNMP で使用する識別名 (通常は public)。

NMS IP/Host Name : SNMP でアクセスするサーバの IP アドレス。

基本的には制御端末の IP アドレスのみで問題ありません。

クライアントツールから監視する場合は、クライアントの IP アドレスも登録してください。

Access Type : 「Write+」または「Write」を選択してください。

「Write+」が選択肢に表示される場合は、「Write+」を選択してください。

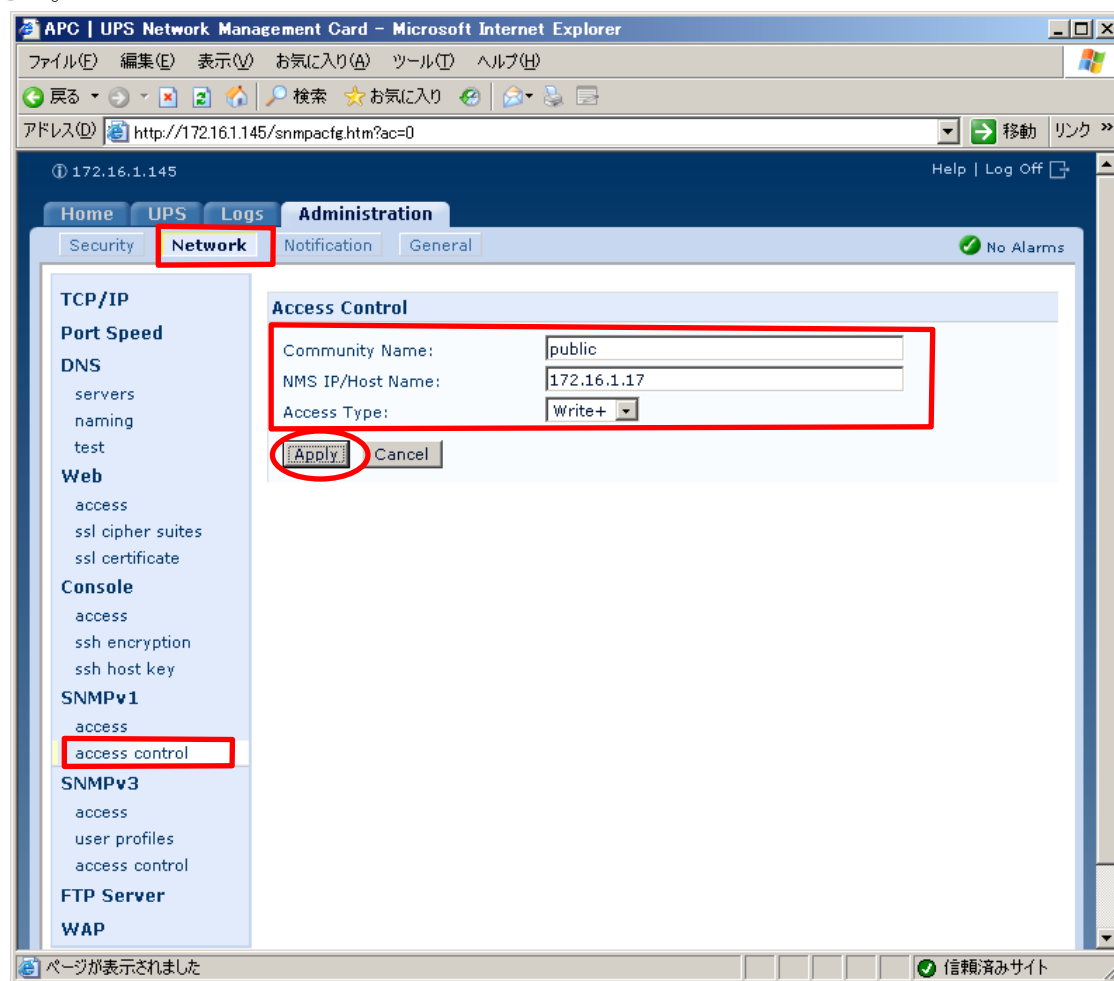
#### 注意：

サーバが複数の LAN ボードがある場合や、複数の IP アドレスを持つ場合には、SNMP カードに対しアクセスする際に使用される IP アドレスを登録してください。

サーバが複数の IP アドレスを持っている場合に、後述の AMC 画面での設定で、UPS 情報が SNMP にて採取できない時には、SNMP カードに登録したサーバの IP アドレス以外が実際には使われている可能性があります。SNMP カードに登録する IP アドレスをサーバの持つ別の IP アドレスに変更するなどして、実際に使用されている IP アドレスを登録してください。（登録数に問題なければ、同一サーバの IP アドレスを複数登録しても構いません。）

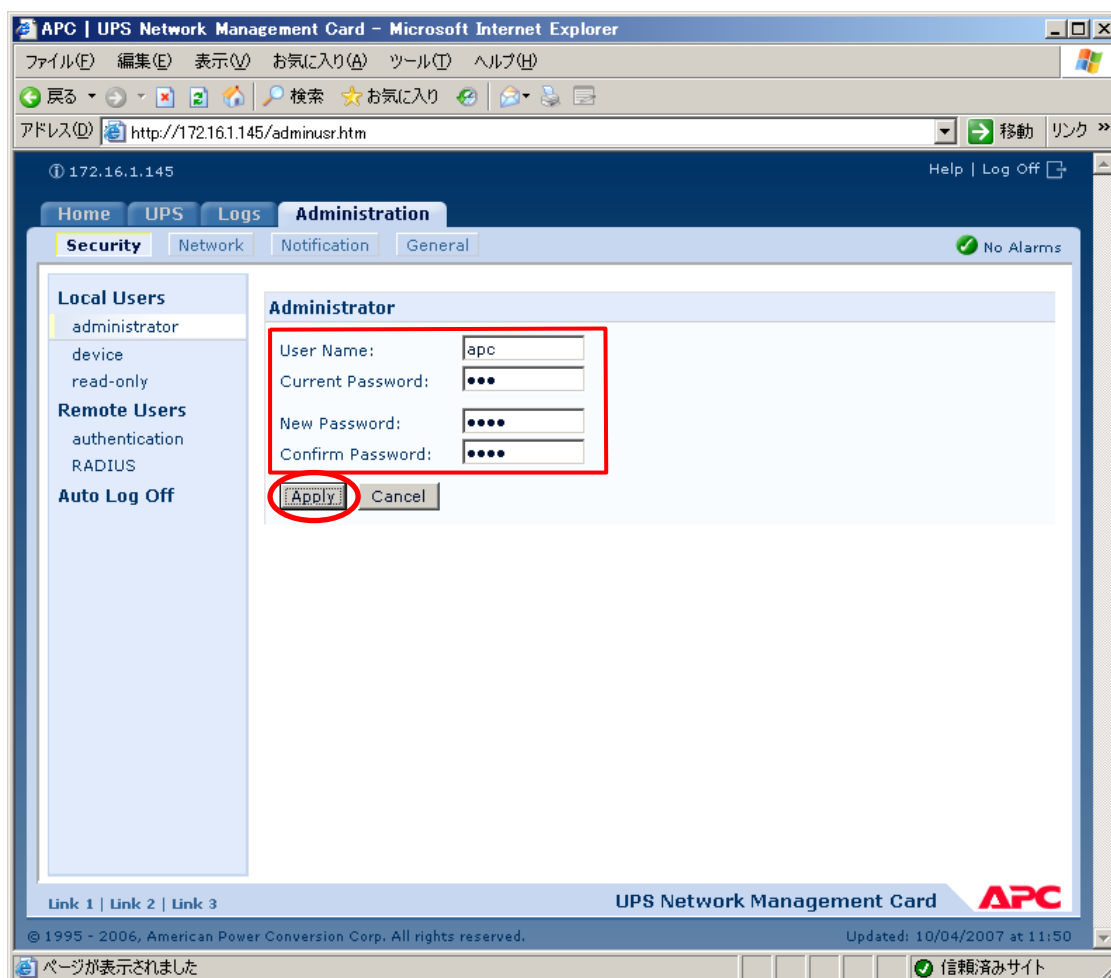
使用しない「Community Name」および「NMS IP/Host Name」が設定されている項目の「Access Type」については、「Disabled」に設定しておいてください。

「Community Name」、「NMS IP/Host Name」、「Access Type」を入力し、「Apply」を選択してください。





「Security」を選択し、「Local Users」→「administrator」と選択すると以下の画面になります。



セキュリティのため、デフォルトで使用しているアカウント：apc 等の設定を変更しておくことをお勧めします。

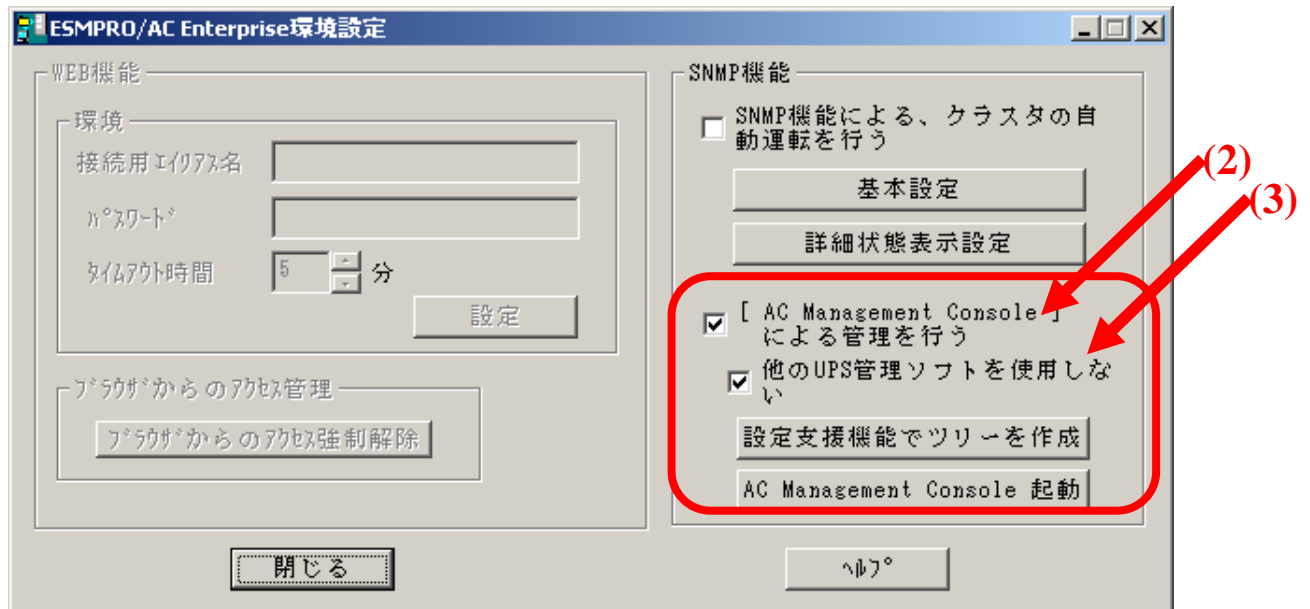
注意：変更したアカウント名・パスワードは忘れないようにしてください。

(忘れた場合、お客様ご自身によるリセット及び設定変更はできなくなります。)

### 3.3 AMC 機能

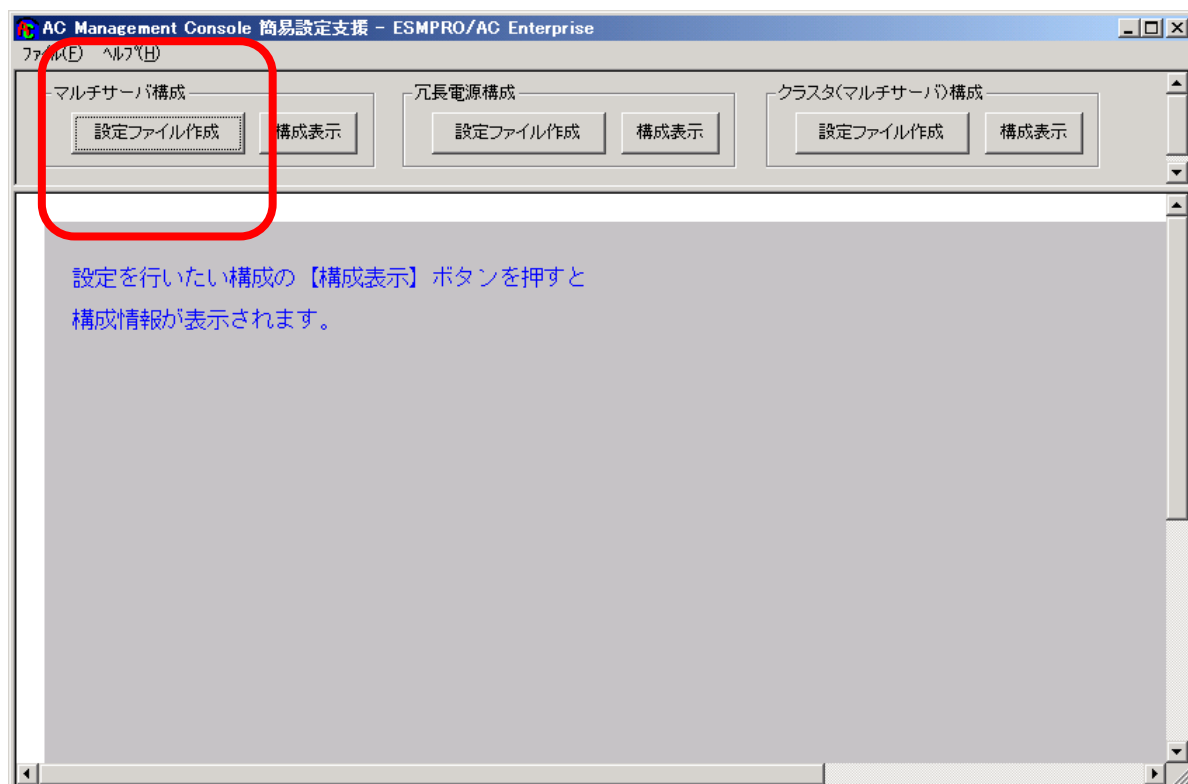
ESMPRO/AC Lite では、AMC (AC Management Console)機能によるサーバ構成での自動電源運転制御をサポートしています。

- (1) ESMPRO/AutomaticRunningController グループの環境設定アイコンを起動すると、下記ダイアログボックスが表示されます。



- (2) ESMPRO/AC Enterprise 環境設定ダイアログボックス内の SNMP 機能の『 [AC Management Console] による管理を行う』のチェックを有効にします。
- (3) 『他の UPS 管理ソフトを使用しない』のチェックを有効にします。

- (4) ESMPRO/AC Enterprise 環境設定ダイアログボックス内の『設定支援機能でツリーを作成』を実行すると [AC Management Console 簡易設定支援 -ESMPRO/AC Enterprise]が起動されます。



この[AC Management Console 簡易設定支援]では、サーバ構成の基礎部分の設定を行います。後で説明する「AC Management Console」のみで設定は可能ですが、この[AC Management Console 簡易設定支援]にて、基礎部分の設定をすることをお勧めします。

#### 注意

- 設定ファイル作成中に登録するサーバ名は、コンピュータ名を設定してください。また、Windows サーバの場合は大文字でコンピュータ名を入力してください。
- 「冗長電源構成」、「クラスタ (マルチサーバ) 構成」については、サポートしない機能ですので、使用しないでください。
- 簡易設定支援で設定するUPS名や、後述するAC Management Console の「電源装置」画面にて設定するUPSの名称は、8文字固定で設定してください。8文字未満でUPSの名称を設定した場合、サーバとUPS間の通信負荷等の状況によっては予期せずランタイム較正やセルフテスト等が実行されることがあります。

サーバ 1 台、UPS 1 台のサーバ構成を行うには、以下のように登録します。

- (4-1) サーバ構成に接続する UPS 台数とそのグループ名を入力します。  
UPS 台数は 1 台を選択してください。

- (4-2) UPS 名とその UPS に挿している SNMP カードに設定した IP アドレスを入力します。UPS 名は「半角英数字」のみ使用してください。

(4-3) UPS に接続しているサーバのサーバ名と、IP アドレスを入力します。

「制御」のチェックは必ず有効にしてください。Linux のチェックは無効にしておいてください。

マルチサーバ環境を構成する1台目のUPSに接続するサーバ名、IPアドレスを台数分、入力して下さい。なおサーバ名は15文字まで有効です。

注意: UPSの台数に関係なく合計8台分のサーバを登録できます。  
Windowsサーバの場合は大文字、Linuxサーバの場合は大文字、小文字を区別して入力して下さい。

サーバ名	IPアドレス	制御	Linux
サーバ1: 120RI-2	172.16.1.21	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
サーバ2:		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
サーバ3:		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
サーバ4:			<input type="checkbox"/>
サーバ5:			<input type="checkbox"/>
サーバ6:			<input type="checkbox"/>
サーバ7:			<input type="checkbox"/>
サーバ8:			<input type="checkbox"/>

< 戻る(B)    次へ(N) >    キャンセル

(4-4) 入力した情報の設定確認画面が表示されます。間違いがない場合は「完了」を押してください。

グループ名1: サーバ電源管理

サーバ名	IPアドレス
サーバ1: 120RI-2	172.16.1.21
サーバ2:	
サーバ3:	
サーバ4:	
サーバ5:	
サーバ6:	
サーバ7:	
サーバ8:	
UPS1: SUPS_001	172.16.1.137

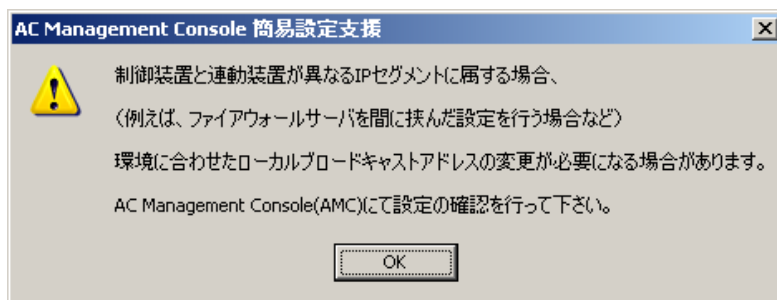
グループ名2:

サーバ名	IPアドレス
サーバ1:	
サーバ2:	
サーバ3:	
サーバ4:	
サーバ5:	
サーバ6:	
サーバ7:	
UPS2:	

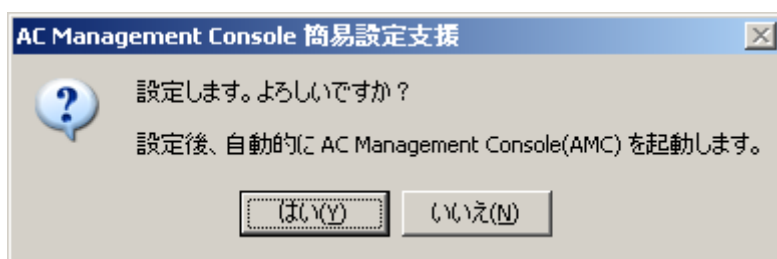
以上のような設定でよろしいですか？

< 戻る(B)    完了    キャンセル

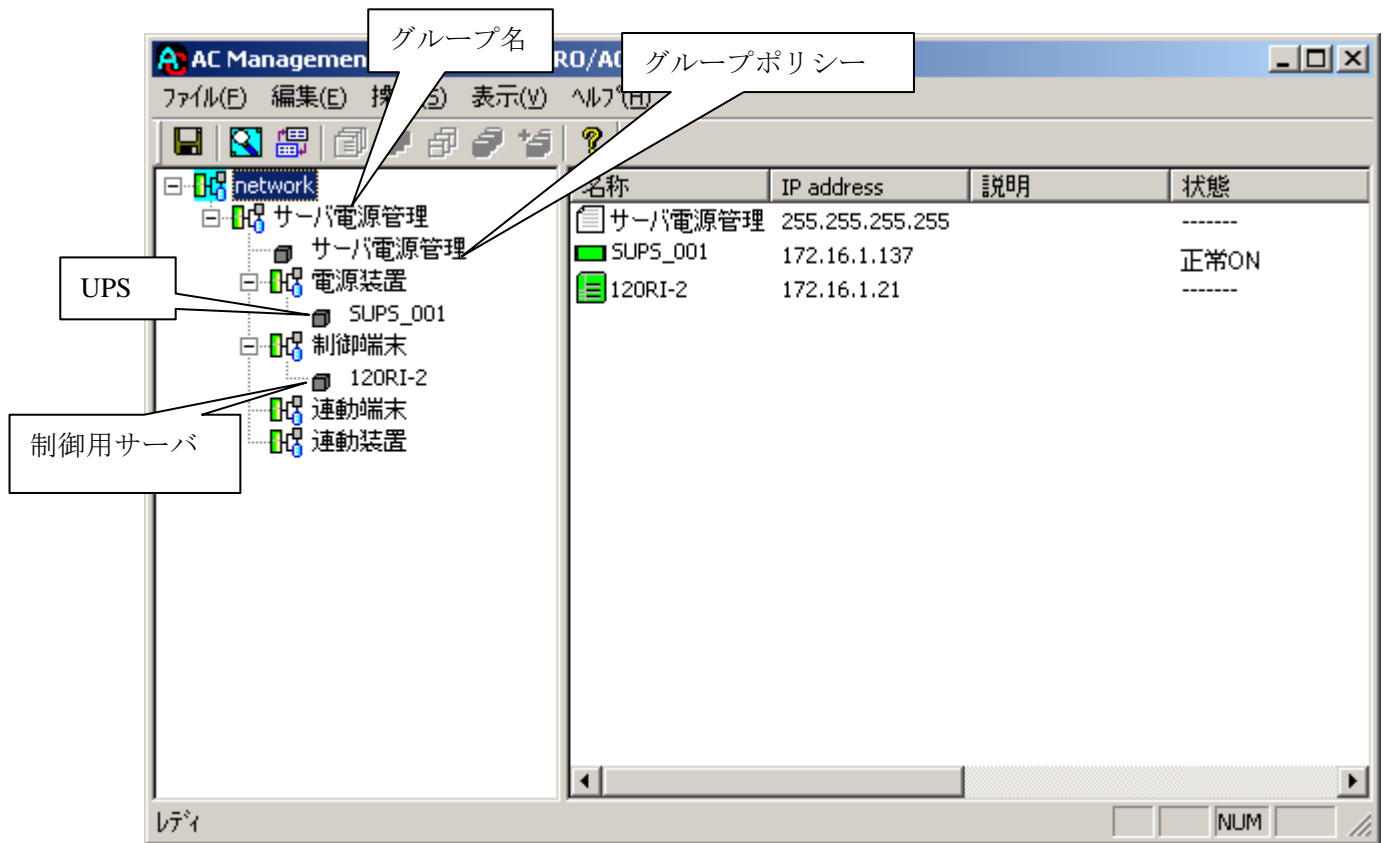
(4-5) 以下のメッセージが表示されますが、「OK」を押してください。



(4-6) AC Management Console の起動確認メッセージが表示されますので、「はい」を押してください。



AC Management Console が起動すると、以下のような画面が表示されます。



[AC Management Console 簡易設定支援]にて、マルチサーバ構成の設定ファイル作成を行った場合は、設定した情報が反映されているか確認してください。

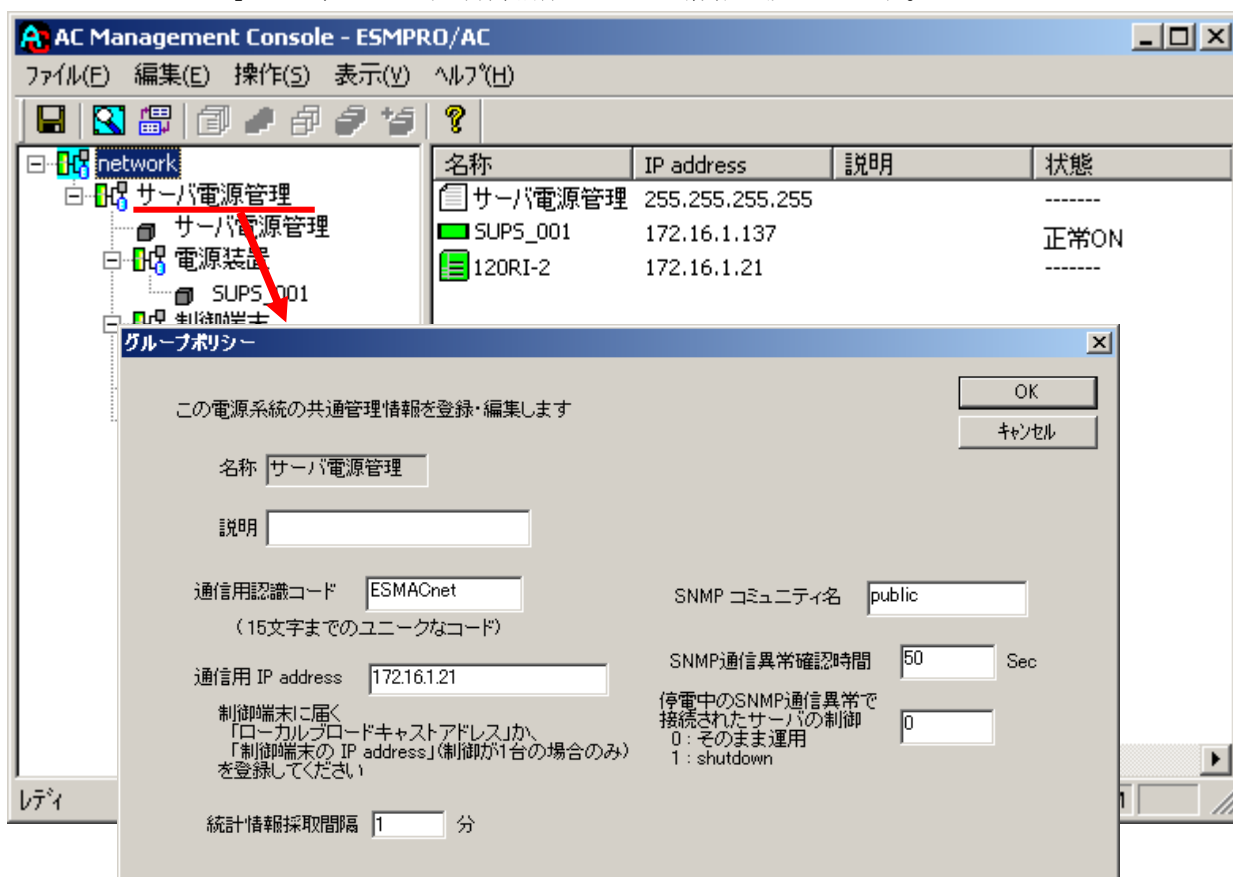
※設定変更は後でも可能です。

### 注意

- ・[AC Management Console 簡易設定支援]で設定せずにこの「AC Management Console」を最初に起動した場合は、何も設定されていません。

### [グループポリシーの編集]

画面左のツリーにて「グループポリシー」を選び、「メニューバー：編集」の「登録情報編集」を実行すると、以下のような「グループポリシー」編集画面が表示されます。  
この「グループポリシー」では、この電源制御構成での共通情報を設定します。



説明：

AMC 画面のリストビューの「説明」に表示される情報です。  
(特に制御処理では使用しませんので、管理のための情報として使用ください。)

通信用認識コード：

この電源制御グループの識別に用いるコードです。ユニークなコードを登録してください。  
コードは半角英数字で 15 文字までの長さを使用可能です。(2 バイト文字は使用しないでください。)

通信用 IP address：

この電源制御グループ内のサーバが、制御端末に対して行う通信で使用する送信先アドレスです。  
このアドレスには制御端末の IP アドレス、または制御端末に届くブロードキャストアドレスを登録してください。

SNMP コミュニティ名：

SNMP カードの設定の際に登録したコミュニティ名を登録してください。

SNMP 通信異常確認時間：

SNMP カードとの状態監視を行う際に必要なパラメータです。指定時間（秒）の間、通信できないと、通信エラーを認識し、AMC では「不明」状態と認識します。



停電中の SNMP 通信異常で接続されたサーバの制御：

UPS で停電を認識した後に SNMP カードとの通信エラーを検出した場合の動作を指定できます。1 を指定すると通信エラー認識後、各連動端末に対してシャットダウン要求をだして停止処理を試みます。ただし、連動端末へのネットワーク異常が発生している場合にはシャットダウンは行えません。

統計情報採取間隔：

統計情報を採取する間隔（時間）を設定できます。1 分に設定した場合、1 分間隔で統計情報を採取します。

### [制御端末(サーバ)情報の編集]

画面左のツリーにて制御端末下にある「サーバ」を選び「メニューバー：編集」の「登録情報編集」を実行すると、以下のような「制御端末（サーバ）」編集画面が表示されます。

この「制御端末（サーバ）」では、制御用のサーバ情報を編集します。

名称	IP address	説明	状態
120RI-2	172.16.1.21		-----

電源制御を行うサーバを登録します。

名称: 120RI-2 (コンピュータ名: 15文字まで。Linuxの場合は大/小文字を区別する必要あり)  
☒ コンピュータ名を大文字に自動変換する。(Linuxの場合は無効)

IP address: 172.16.1.21

説明:

☐ Linux  
☐ SNMP Trapを使用しない

☐ Advance option mode  
リモート起動用 MAC address:   
リモート起動用 IP address:   
リモート起動用 ネットマスク:

名称：

サーバのコンピュータ名を正確に登録してください。

コンピュータ名を大文字に自動変換する。（Linux の場合は無効）：

このチェックは有効のままにしておいてください。

IP address：

サーバの IP アドレスを登録してください。サーバに複数の IP アドレスが設定してある場合には、

UPS 装置と共有している LAN の IP アドレスを登録してください。

説明：

AMC 画面のリストビューの「説明」に表示される情報です。

(特に制御処理では使用しませんので、管理のための情報として使用ください。)

Linux：

このチェックは無効のままにしておいてください。

SNMP Trap を使用しない：

SNMP Trap を利用しない場合にチェックを有効にします。

- ツリービューで制御端末を選択している状態で右クリックを実行すると、サーバ設定に関するサブメニュー（指定サーバの設定、制御端末からの構成情報取得、指定サーバへ構成情報送信など）が表示されます。

## [電源装置 (UPS) の編集]

画面左のツリーにて電源装置下にある「UPS」を選び「メニューバー：編集」の「登録情報編集」を実行すると、以下のような「電源装置」編集画面が表示されます。

この「電源装置」では、UPS 情報を編集します。

**電源装置管理情報**

サーバの電源: 冗長なし (①)  
 IP address: 172.16.1.137 (②)  
 SNMP コミュニティ名: public (⑥)  
 説明: マルチサーバ電源 (⑦)

**電源異常**

電源異常確認時間: 60 Sec  
 Warm-UP 時間: 0 Sec  
 Warm-UP 順位: [ ]  
☐ 電源異常回復時にリブートしない  
☒ 電源異常回復時にリブートする (UPSによるリブート)  
☐ 電源異常回復時にリブートする (制御端末からリブートする)  
 バッテリ温度監視: 45 °C 上限, 0 °C 下限

**SNMP設定情報**

名称: SUPS\_001  
 電源切断猶予時間: 180 Sec  
 Disk保護時間: 60 Sec  
 許容電圧(上限): 108 V  
 許容電圧(下限): 92 V  
 電源異常検出感度: 4 (1:自動 2:低 3:中 4:高)  
 異常発生時のブザータイミング: 1 (1:電源障害 2:LowBattery 3:なし)  
 異常検出時のブザータイム: 0 Sec  
 自動バッテリーテストパターン: 2 (2:隔週 3:毎週 4:起動時 5:なし 8:起動時、隔週 9:起動時、毎週)

**UPS設定情報**

UPS型名: Smart-UPS 1500 RM  
 シリアル番号: AS0747110166  
 FW Rev.: 617.17.A  
 復電reboot時の最低充電率: 0 %  
 最小復帰ランタイム: 0 Sec  
 LowBattery検出後の動作可能時間: 2 Min  
 UPS停止後のバッテリー放電時間: 0 Sec

情報の上書きを SNMPで実行(S) (⑤)

OK, キャンセル, UPS レポート, バッテリ交換日, 冗長構成設定, iStorage連携

半角 8 文字で必ず一意の名称にしてください (設定例) SUPS\_001

電源異常確認時間：

電源異常が発生してから電源異常と断定するまでの時間です。設定した時間（Sec）内に電源異常が回復した場合、電源異常の処理は行われません。

最初は IP address(①)が、先にセットアップしておいた SNMP カードに設定した IP アドレスになっているか確認して、「SNMP 設定情報の採取」(②)を実行してください。設定が正常であれば、「SNMP 設定情報」が入手され、「UPS 型名」「シリアル番号」等と共に設定情報が表示（③）されます。

（ここで、「UPS 型名」などが空欄になってしまう場合には、SNMP カードの設定を確認してください。）

SNMP で入手した情報を確認し、「名称」「電源切断猶予時間」などを編集(④)したら、「情報の上書きを SNMP で実行」(⑤)を実行してください。（この操作により、UPS に情報が書き込まれます。）

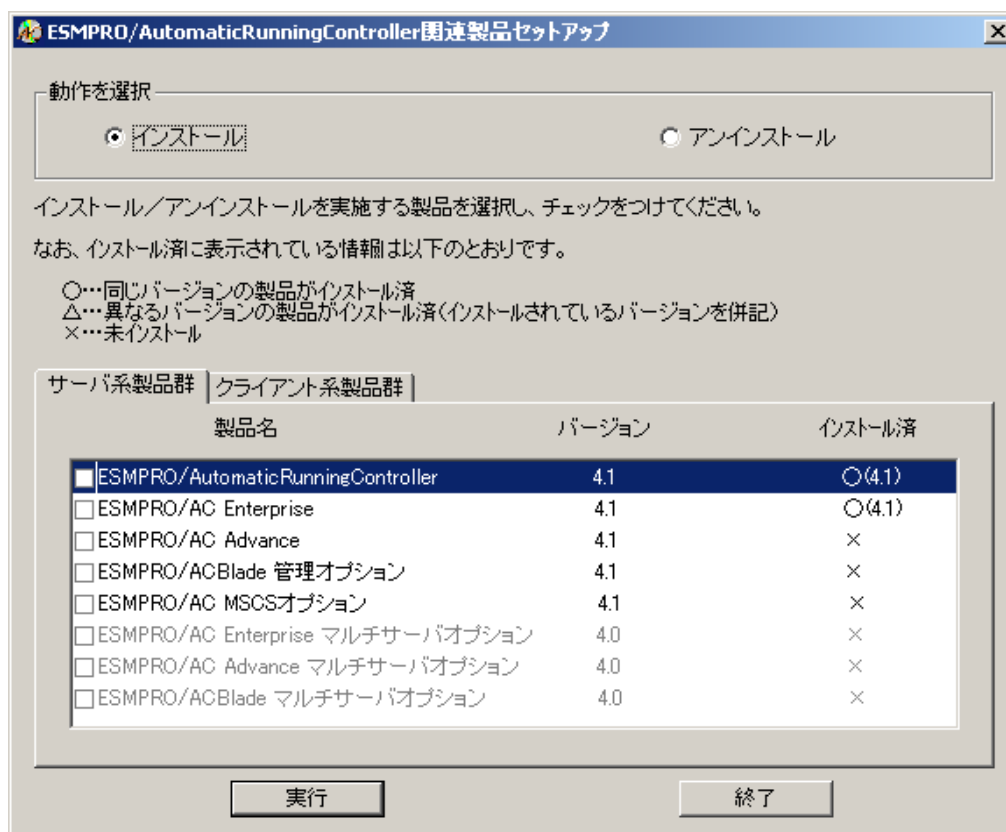
（注意：設定後直ぐに「SNMP 設定情報の採取」を実行すると、古いデータが表示される場合があります。これは、SNMP での設定要求が UPS 内部に反映されるまで、若干のタイムラグがあるためです。数秒後に再度「SNMP 設定情報の採取」を実行してください。また、許容電圧などでは、設定したデータがその UPS の仕様上不適当な場合、UPS 側にて設定情報を自動的に補正することもあります。）

電源異常確認時間など変更があれば変更（⑥）し、OK（⑦）を実行してください。

- (5) [AC Management Console]にて設定完了後、メニューより「ファイル(F)ー＞設定保存(S)」を行い、設定ファイルを保存します。
- (6) 設定完了後、OS のサービス画面から [ESMPRO/ARC Service] サービスを再起動します。  
[ESMPRO/ARC Service]サービスを再起動後、[AC Management Console]にて、設定を行ったサーバ、UPS などの状態が正常に認識されていることを確認します。

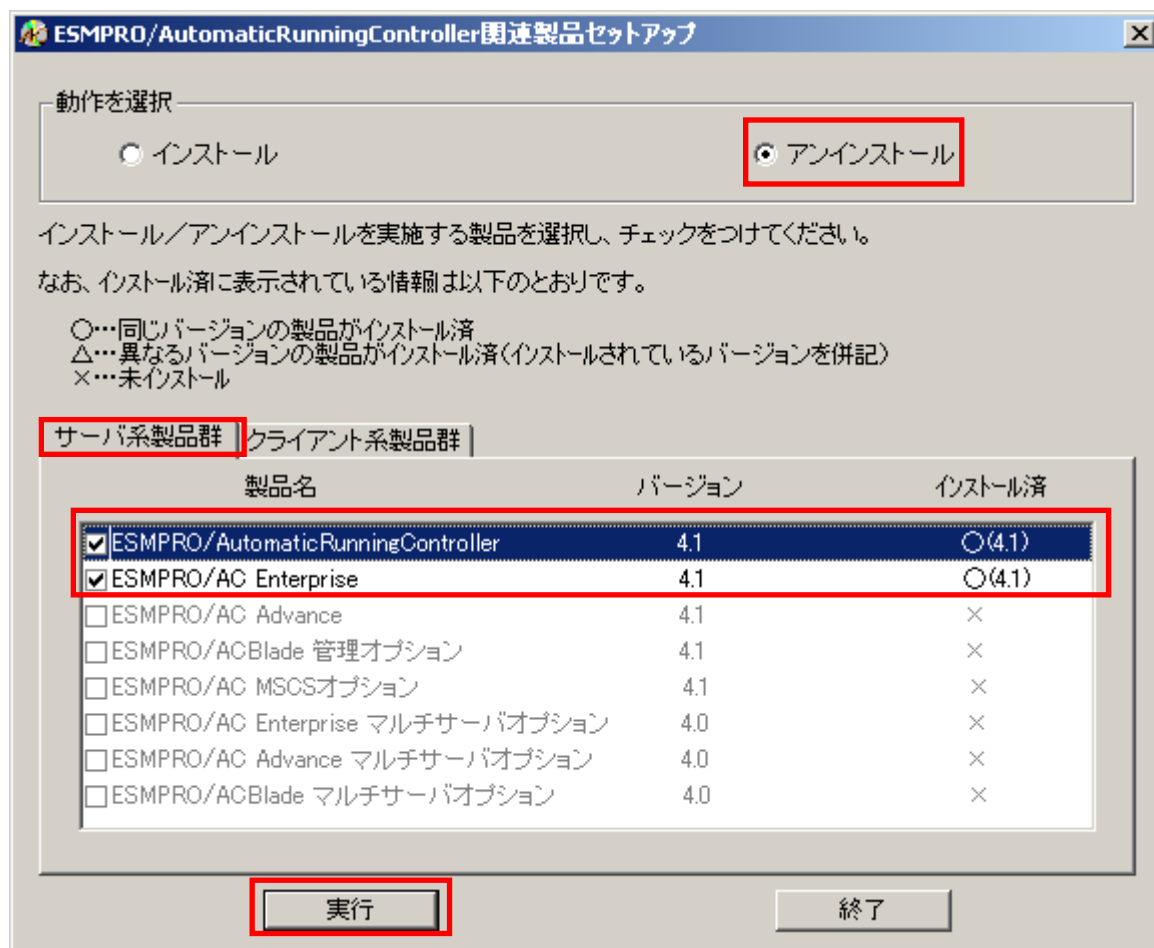
### 3.4 ESMPRO/AC Lite のアンインストール

- (1) インストールを行ったAdministratorもしくはAdministrator権限のあるユーザでコンピュータにログオンし、ラベルに『ESMPRO/AC Lite Ver4.1』と記載されているCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。
- (2) CD-ROMドライブの『Setupac.exe』を起動します。

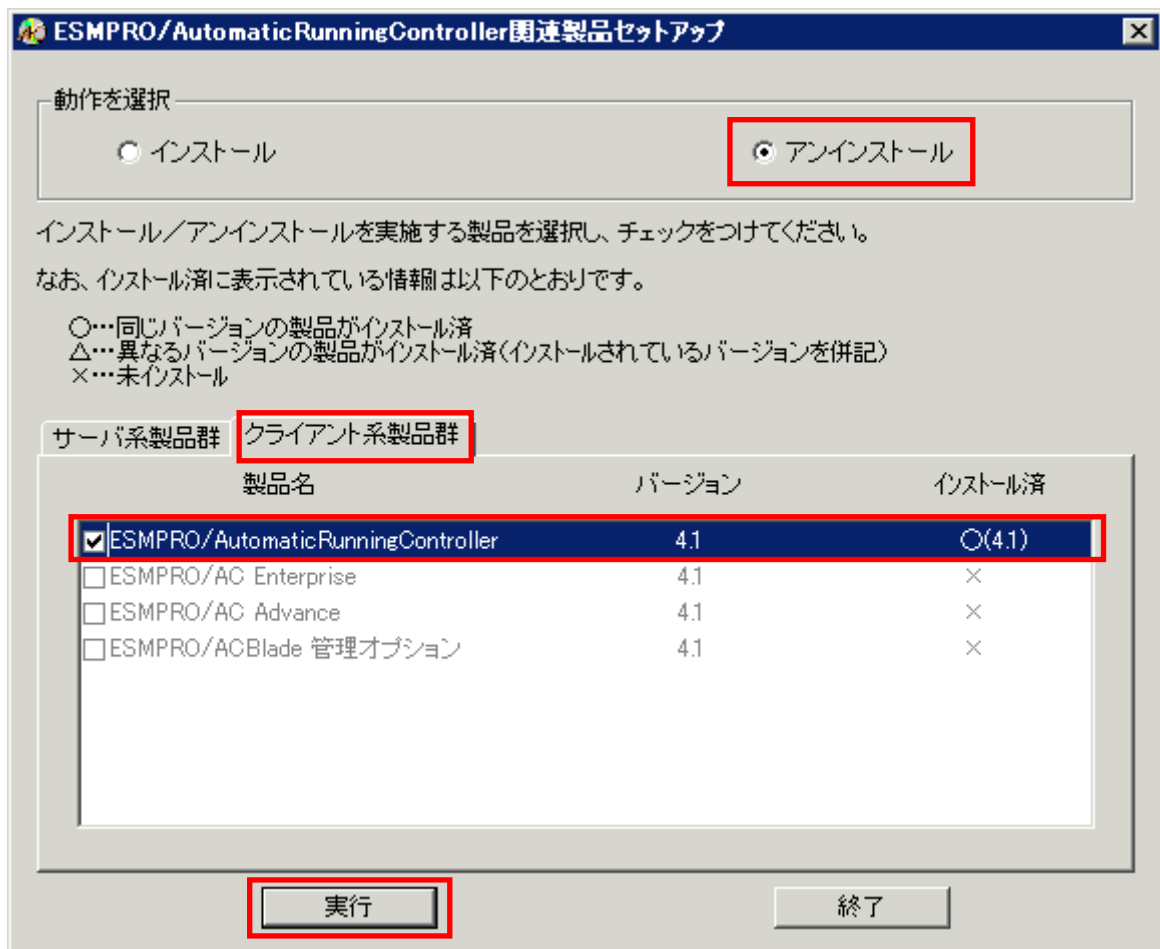


(3) 「ESMPRO/AutomaticRunningController」のセットアップには「サーバ系製品」と「クライアント系製品」があります。

- ◆ サーバ系製品をアンインストールする場合、「動作を選択」のラジオボタンで「アンインストール」を選択したあと、サーバ系製品群タブの中からESMPRO/AutomaticRunningControllerを選択し、チェックを有効にします。  
(同時にESMPRO/AC Enterpriseのチェックも有効になります。)

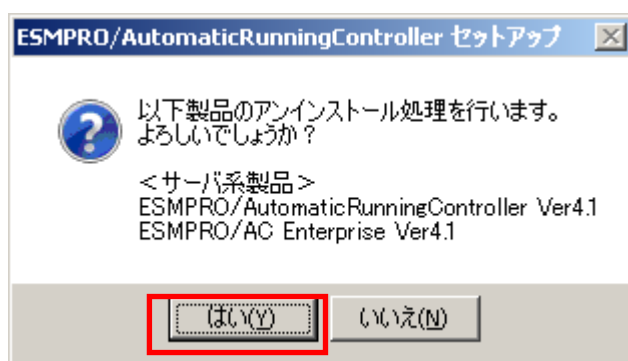


- ◆ クライアント系製品をアンインストールする場合、「動作を選択」のラジオボタンで「アンインストール」を選択したあと、クライアント系製品群タブの中からインストール済みの製品のチェックを有効にします。

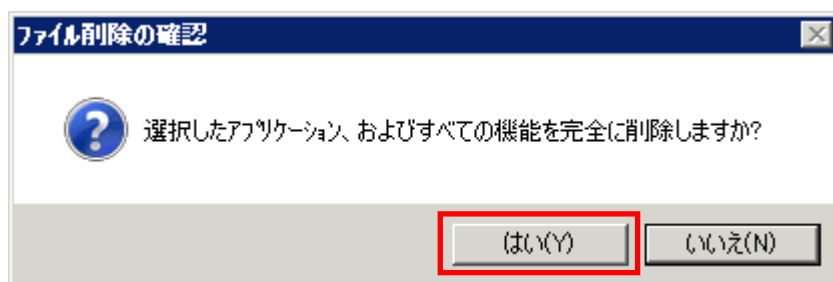


(4) 「実行」ボタンを選択します。

(5) 選択した製品のアンインストール確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。



- (6) サーバ系製品の場合、ESMPRO/AC Enterpriseのインストーラが起動され、もう一度確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。



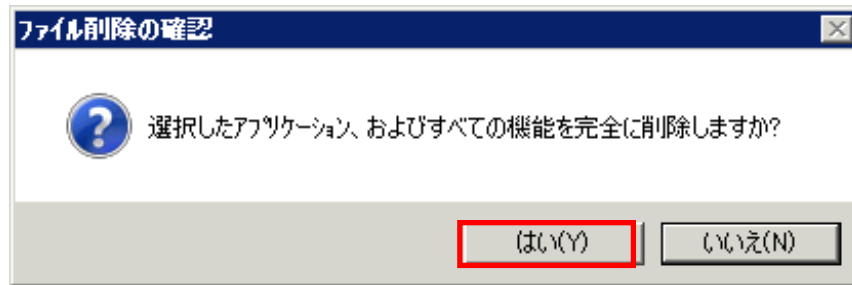
- (7) ファイルの削除が行われます。

- (8) 次の画面が表示されたら、ESMPRO/AC Enterpriseのアンインストール完了です。「完了」ボタンを選択します。



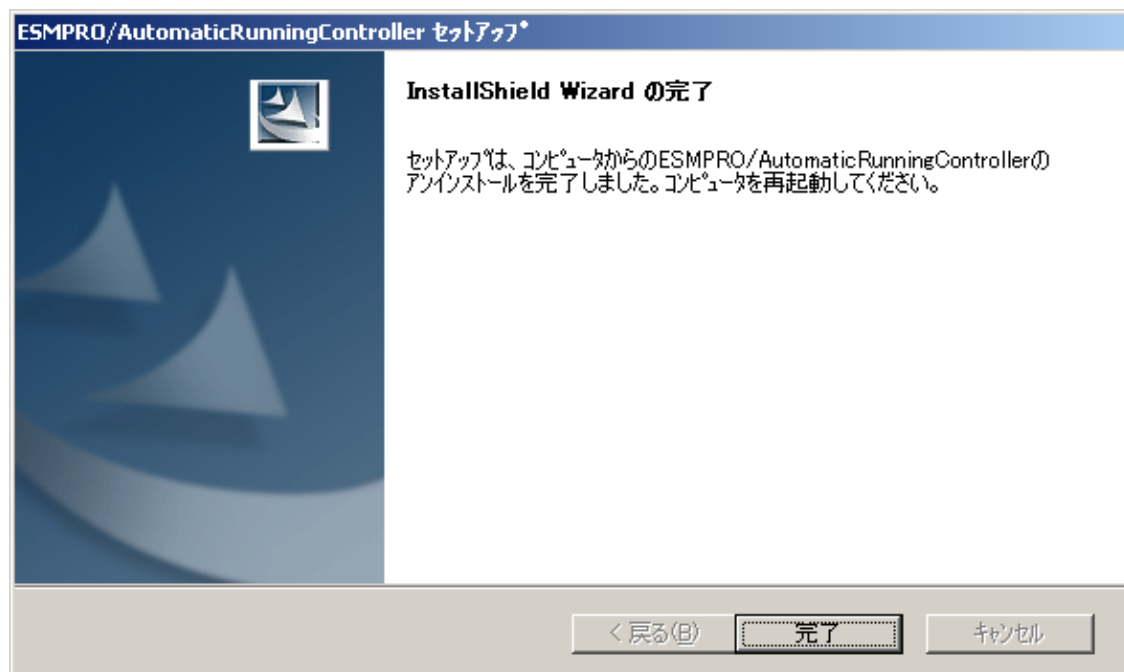


- ( 9 ) 続いてESMPRO/AutomaticRunningControllerのインストーラが起動され、確認メッセージが表示されますので、「はい」を選択します。

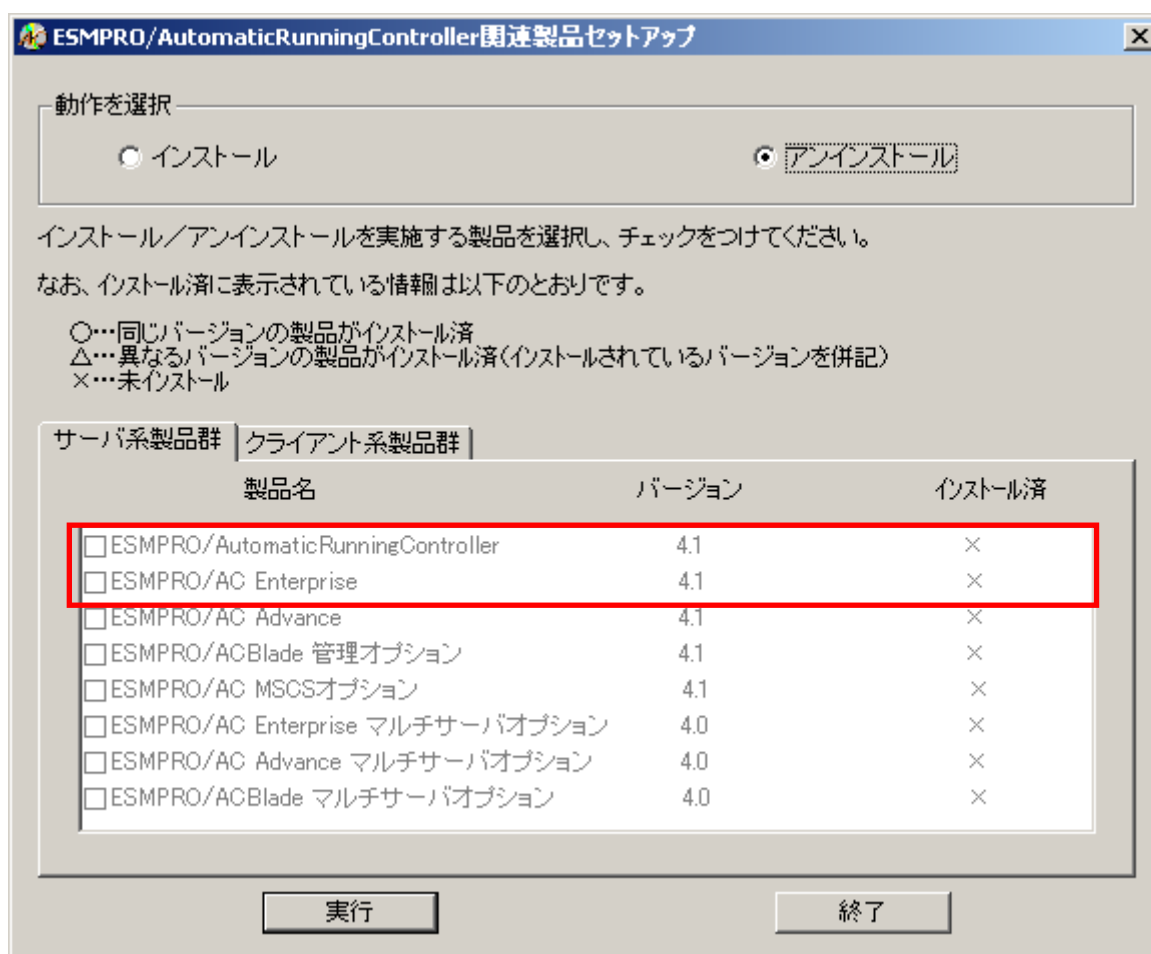


- ( 1 0 ) ファイルの削除が行われます。

- ( 1 1 ) 次の画面が表示されたら、ESMPRO/AutomaticRunningControllerのアンインストール完了です。「完了」ボタンを選択します。



- (12) 最初の画面に戻り、ESMPRO/AutomaticRunningControllerおよびESMPRO/AC Enterpriseのインストール済欄に×が表示されていることを確認します。



- (13) アンインストール後は、Setupac.exe を終了してシステムを再起動してください。

## 4. スケジュール運転の設定

### 4.1 制御端末のスケジュール設定

制御端末のスケジュール登録を行うには、『ESMPRO/AutomaticRunningController GUI』の設定を行う必要があります。

以下を例に、スケジュール運転の設定方法を説明します。

- ①月曜日から金曜日までは、8時00分 に電源投入。17時00分 に電源切断。
- ②土日祝は、運用しない。

#### (1) ESMPRO/AutomaticRunningController GUIの起動

[スタート]メニュー → [プログラム] → [ESMPRO\_AutomaticRunningController] → [ESMPRO\_AC] を起動してください。

起動すると以下のような画面が表示されますので「スケジュール」ボタンを選択してください。



- (2) 「スケジュール」画面が表示されますので、画面内の  
“通常 09時00分から17時00分まで”（赤枠）を選択し「修正」ボタンを選択してください。

“月曜日から金曜日までは、8時00分に電源投入。17時00分に電源切断。”  
の設定を行います。  
投入時間を9時00分→8時00分に変更し、「OK」ボタンを選択してください。

(3) 「スケジュール」画面に戻りますので、(2)で変更した時間が反映されているか確認を行います。問題なければ、「設定」ボタンを選択して、「②土日祝は、運用しない。」の設定を行います。

- ①「設定」画面が表示されましたら「祭日休日指定」タブを選択します。赤枠内全てのチェックを有効にします。
- ②次に「曜日指定」タブを選択します。  
同じく赤枠内のように、「複数曜日」と「日」、「土」、「運転休止」のチェックを有効にして「OK」ボタンを選択してください。
- ③「スケジュール」画面に戻りますので、「OK」ボタンを選択してください。
- ④青枠のようなメッセージが出力されますので、全て「はい」または「OK」ボタンを選択してください。

スケジュール表示 | カンダ表示 |

スケジュール有効期間: 2011年08月から2021年07月まで [変更(Q)]

運用スケジュール [グラフィック(G)]

通常 08時00分から17時00分まで

設定(S) [修正(R)] [削除(D)]

OFF→ONが1分差のスケジュールは、レポートと認識します。

OK [キャンセル] ヘルプ(H)

日付指定 | 祭日休日指定 | 曜日指定 | 通常指定 |

☒ 元日(1/1) ☒ 海の日(7月第3月曜日)

☒ 成人の日(1月第2月曜日) ☒ 敬老の日(9月第3月曜日)

☒ 建国記念の日(2/11) ☒ 秋分の日(9/n)

☒ 春分の日(3/n) ☒ 体育の日(10月第2月曜日)

☒ 昭和の日(4/29) ☒ 文化の日(11/3)

☒ 憲法記念日(5/3) ☒ 勤労感謝の日(11/23)

☒ みどりの日(5/4) ☒ 天皇誕生日(12/23)

☒ こどもの日(5/5) ☒ 国民の休日

☒ 振り替え休日あり ☐ 振り替え休日なし

OK [キャンセル] ヘルプ(H)

スケジュール表示 | カンダ表示 |

スケジュール有効期間: 2011年08月から2021年07月まで [変更(Q)]

運用スケジュール [グラフィック(G)]

11年09月19日 運転休止 敬老の日

11年09月23日 運転休止 秋分の日

11年10月10日 運転休止 体育の日

12年01月02日 運転休止 振り替え(元日)

12年01月09日 運転休止 成人の日

12年03月20日 運転休止 春分の日

12年04月30日 運転休止 振り替え(昭和の日)

12年07月16日 運転休止 海の日

12年09月17日 運転休止 敬老の日

12年09月22日 運転休止 秋分の日

12年10月08日 運転休止 体育の日

12年12月24日 運転休止 振り替え(天皇誕生日)

OFF→ONが1分差のスケジュールは、レポートと認識します。

OK [キャンセル] ヘルプ(H)

日付指定 | 祭日休日指定 | 曜日指定 | 通常指定 |

☐ 単体曜日 ☒ 複数曜日

☒ 日 ☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☒ 土

運転時間 ☐ リポート ☒ 運転休止

投入時刻

☒ 日 ☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☐ 土

時 分

切断時刻

☒ 日 ☐ 月 ☐ 火 ☐ 水 ☐ 木 ☐ 金 ☐ 土

時 分

コメント: [ ]

OK [キャンセル] ヘルプ(H)

ESMPRO/AutomaticRunningController

スケジュールファイルを作成します。ファイルが存在する時は、そのファイルを上書きします。

AC Management Consoleにより管理構成では、制御端末、運動端末の両方でスケジュール運転する場合、運動端末のスケジュールOFF時刻には、制御端末よりも早い時刻(目安として10分以上前)を設定してください。

制御端末、運動端末がすべて同じクラスシステムの場合には、必要ありません。

はい(Y) [いいえ(N)]

ESMPRO/AutomaticRunningController

スケジュールファイルを更新しましたが、未だスケジュールの運転に反映されていません。

スケジュールファイルを直ちに反映させるためには、次のメイン画面より、監視要因のスケジュール(監視要因、切断要因)部分へチェックを入れた後、メイン画面でOKを押す必要があります。

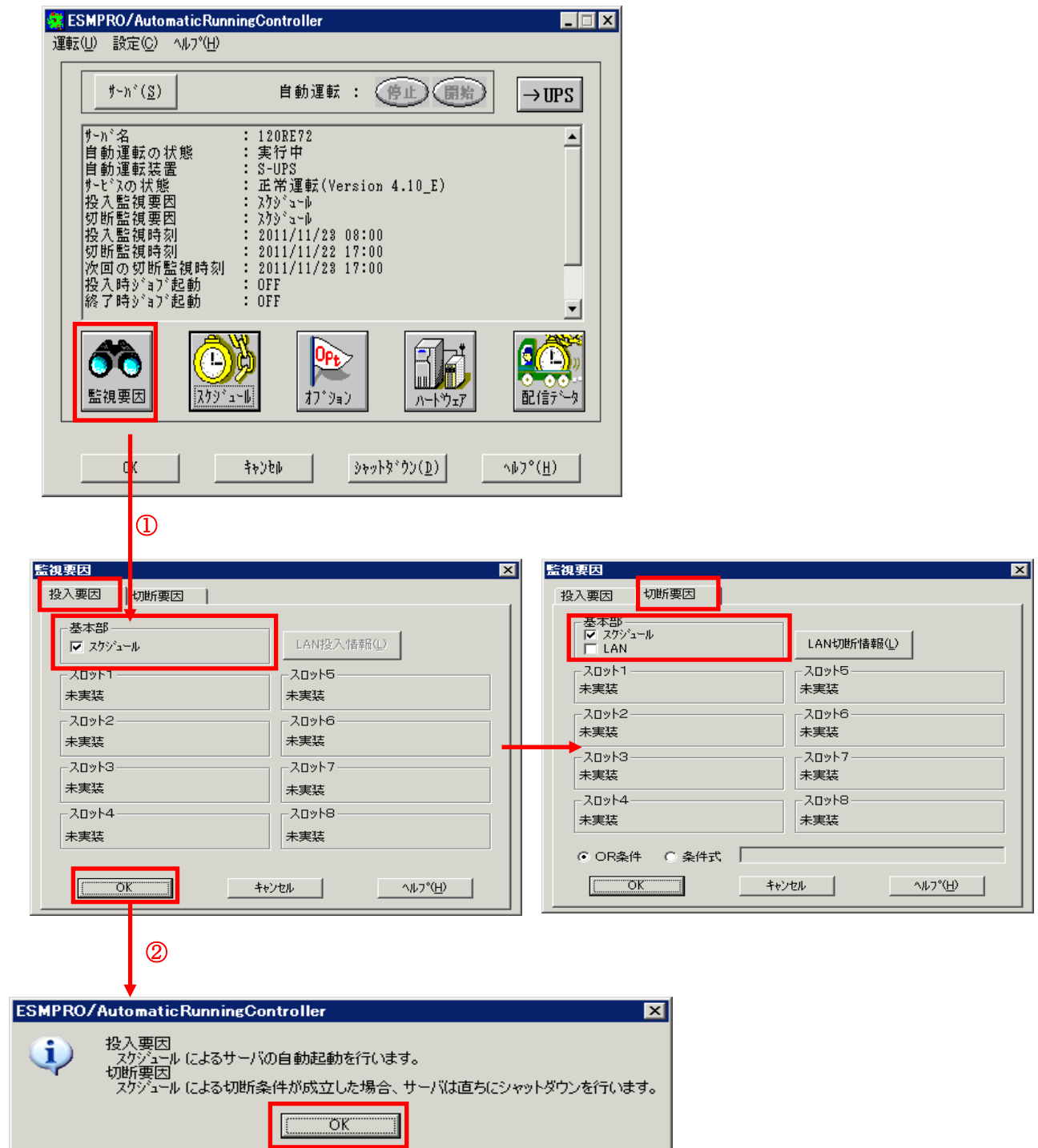
OK

(4) 以下のような画面に戻りましたら、「監視要因」ボタンを選択してください。

①以下のような画面が表示されましたら、「投入要因」タブと「切断要因」タブ内にある、“基本部”欄の「スケジュール」のチェックを有効にしてください。

その後「OK」ボタンを選択してください。

②メッセージが出力されますので、「OK」ボタンを選択してください。

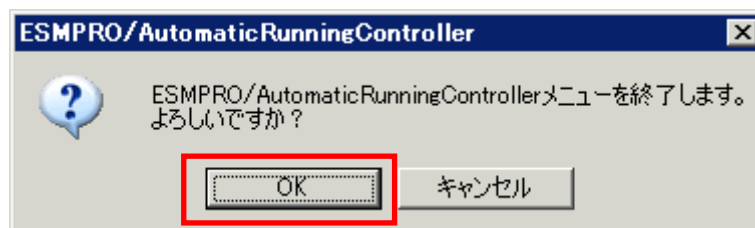
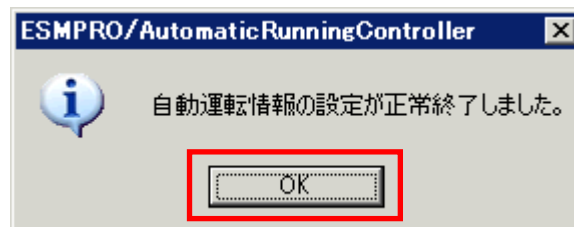


(5) 以下のような画面に戻りましたら、「OK」ボタンを選択してください。



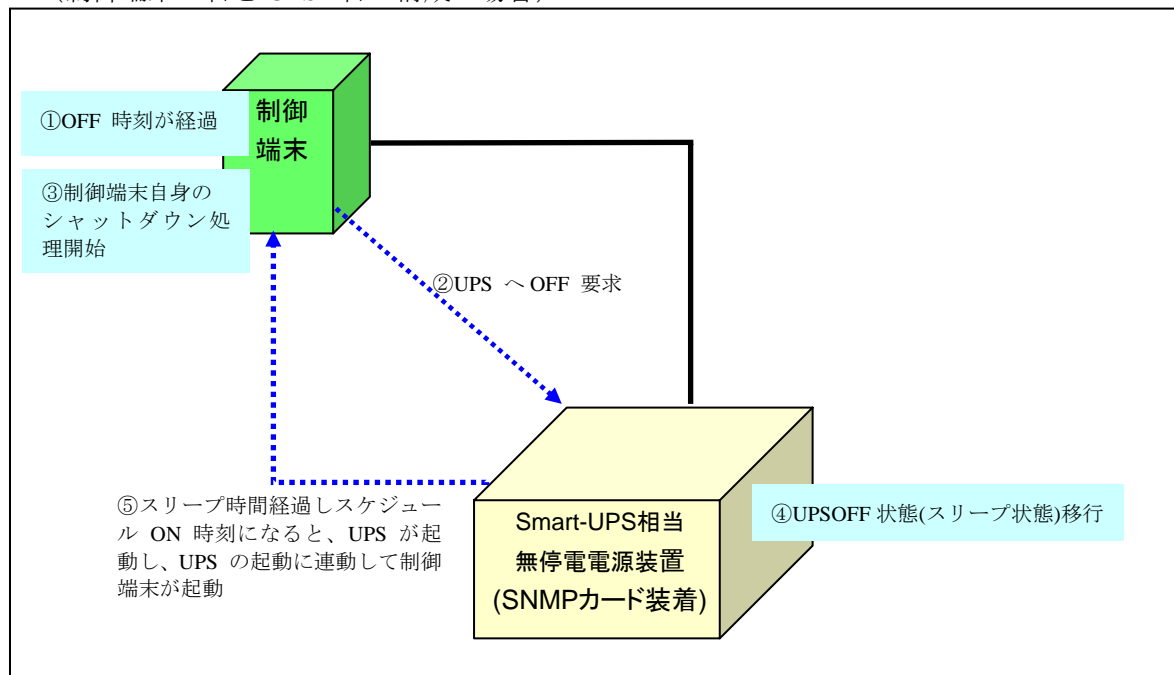
以下のような画面が表示されますので、「OK」ボタンを選択してください。

「OK」ボタンを押しますと、ESMPRO/AutomaticRunningController GUI が終了します。



#### 4.1.1 スケジュールシャットダウン時の動作について

- 制御端末の処理概要  
(制御端末 1 台と UPS1 台の構成の場合)



※実線：環境、点線：動作の流れ



## 5. 注意事項

ESMPRO/AC Lite を使用する際には、次の点にご注意ください。

### 5.1 セットアップ関連

- (1) ESMPRO/ServerManager の統合ビューアから、ESMPRO/AutomaticRunningController ユーザインターフェイスを起動する場合は、「ESMPRO/ServerManager」のインストールを先に行う必要があります。
- (2) 制御端末として仮想サーバ(Hyper-V など)を使用する場合、仮想サーバ上にのみ電源制御ソフトウェアをインストールしてください。仮想サーバ上で動作する仮想マシンには、電源制御ソフトウェアのインストールは不要です。  
ただし、仮想サーバ上で動作する仮想マシンは、仮想サーバのシャットダウンに連動してシャットダウンが行われるように、あらかじめ仮想サーバおよび仮想マシンの設定を行っておいてください。  
※設定方法の詳細については、各仮想サーバで提供されているドキュメント等をご確認願います。

- (3) Windows Server 2003 、Windows Server 2008 上で 以下に挙げる操作を行う場合、Internet Explorer(以下 IE と省略)のセキュリティ設定を変更する必要があります。

- ・ IE を使って SNMP カード にアクセスする
- ・ IE を使って Web ブラウザから Linux サーバの設定を行う

1. IE のメニューで [ツール]-[インターネットオプション] を選択
2. "セキュリティ"タブを選択後、"信頼済みサイト"を選択
3. 『サイト』 ボタンを選択後、対象のサーバへアクセスするための URL を入力し、『追加』 ボタンにより登録してください。

http://(対象サーバの IP address)

<例>

アクセスするサーバの IP address が 192.168.0.3 の場合、"信頼済みサイト"には以下のように登録します。

<http://192.168.0.3>

## 5.2 運用関連

- (1) Windows サーバをご使用になる場合、コントロールパネルの「電源オプション」機能の「休止状態のサポート」はOFF（初期状態）にしてください。  
「休止状態」になった場合、ESMPRO/AutomaticRunningController によるサーバの自動運転は、制御不能になります。
- (2) 自動電源制御を行っている際は、サーバ本体のパワースイッチを使用して電源を切断しないでください。もしサーバ本体のパワースイッチにより電源切断を実行した場合、次回の電源自動投入は行われません。手動でUPS装置の電源をオンする必要があります。  
Smart-UPS 相当無停電電源装置をご使用の際に本体サーバのOSストール等が発生した場合は、以下の手順で行ってください。（使用する Smart-UPS 装置により操作が異なる場合があります。詳細は Smart-UPS 装置に添付のドキュメントをご確認ください。）
  - ① Smart-UPSのOFFボタンを押します。（ここで、本体サーバの電源がOFFされます。）
  - ② Smart-UPSのON/テストボタンを押します。（ここで、本体サーバの電源が投入されます。）
- (3) ESMPRO/AutomaticRunningController ユーザインターフェイスで行う操作は、Administrator 権限のあるユーザでのみ行うことができます。
- (4) 「ユーザーアカウント制御」機能が含まれる OS において、「ユーザーアカウント制御」を有効化している場合、インストール時に起動する Setupac.exe や、ESMPRO/AutomaticRunningController の GUI を実行すると以下のような確認ダイアログが表示される場合があります。「はい」ボタンを選択して起動してください。



- (5) 本バージョンの ESMPRO/AutomaticRunningController は、JIS2004 で新規追加された文字に対応していません。そのため、インストール時のインストールパスや、GUI 操作において、JIS2004 の新規追加文字が含まれるパス情報は指定、入力しないでください。
- (6) ESMPRO/AC GUI や AC Management Console からユーザーアカウント制御機能を有効にしている Windows Server 2008 などの Windows OS へネットワーク接続する場合、Administrator アカウントによるネットワーク接続が必要です。

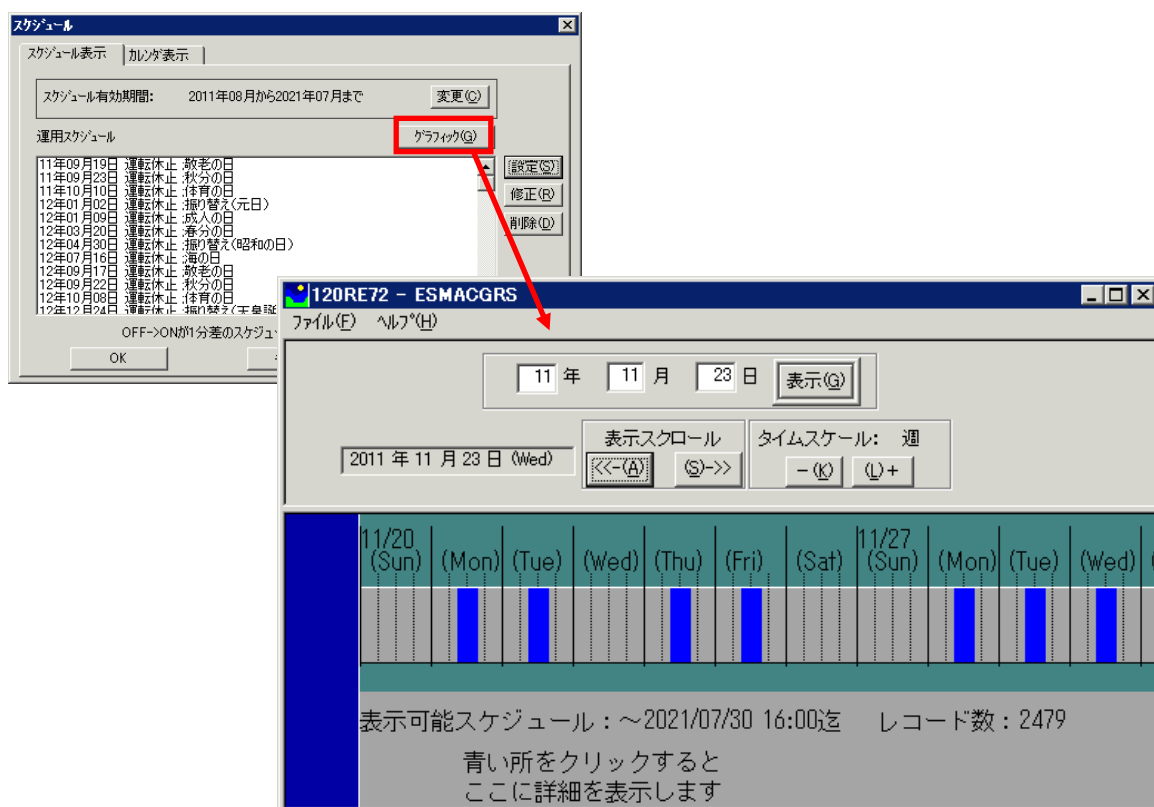
- (7) Smart-UPS 相当無停電電源装置を使用してスケジュール運転を行っている環境で、ESMPRO/AutomaticRunningController のシャットダウン以外でシャットダウンを行った場合、ESMPRO/AutomaticRunningController のスケジュール機能は有効になりません。

また、停電によるシャットダウンが行われ、スケジュール OFF 時刻経過後に復電により起動してきた場合、スケジュール OFF 時刻は経過しているため、スケジュールによるシャットダウンは行われません。

「ESMPRO\_AC ヘルプ」情報の「ご使用にあたってのご注意」および「トラブルシューティング」もご覧ください。「ESMPRO\_AC ヘルプ」はスタートメニューから起動することができます。

### 5.2.1 スケジュール関連

- (1) スケジュール作成でワイルドカードを使用した毎日設定を行う場合、あるいは、曜日指定で一週間の連続運転を設定する場合には、通常指定は運転休止にすることを推奨します。
- (2) スケジュール設定につきましの詳細は、『ESMPRO/AC GUI』のヘルプ、「スケジュール」ダイアログボックス" をご参照ください。
- (3) スケジュールの設定には優先順位があり、日付項目→曜日項目→通常項目という順位で優先されます。
- (4) 祭日休日は、設定した時のスケジュールの有効期限内のみ運転休止に登録します。
- (5) 設定後は、グラフィック表示やカレンダー表示にて正しくスケジュールが登録されていることをご確認ください。



## 5.3 通信ポート番号関連

使用するポート番号は、以下の通りです。

### ●制御端末、UPS 間の通信

	ポート番号	接続方向	ポート番号	
制御端末	不定/udp	→	6000/udp	制御端末
制御端末	不定/udp	→	161/snmp	UPS
	162/snmp	←	不定/udp	
AC Management Console	不定/udp	→	6000/udp	制御端末
	不定/udp	←	不定/udp	

### ●Client 監視機能使用時

	ポート番号	接続方向	ポート番号	
サーバ	3999/udp	←	不定/udp	クライアント
	3999/udp	→	3998/udp	

## 5.4 共有フォルダ関連

ESMPRO/AutomaticRunningController では、ネットワーク機能を提供するために、以下の共有フォルダを設定しています。

フォルダ名	共有名	デフォルトのアクセス権
(インストールフォルダ)¥DATA	ARCDATA	Administrators フルコントロール

「ARCDATA」の共有フォルダは、GUI をサーバ以外からリモートで行う場合に使用します。サーバ上でのみ GUI を使用する場合には、この共有を解除しても問題ありません。

フォルダ名	共有名	デフォルトのアクセス権
(インストールフォルダ)¥CMSETUP	CMSETUP	Administrators フルコントロール

「CMSETUP」の共有フォルダは、LAN 投入・切断監視に Client 監視機能を使用する場合に、クライアントをセットアップするために使用します。Client 監視機能を使用しない場合には、この共有を解除しても問題ありません。

## 5.5 AC-LINK 関連

UPS を使って自動運転を行う場合は、サーバ装置の BIOS の設定で、AC-LINK を「Power ON」にしておいてください。BIOS の設定変更の方法については、サーバにより異なりますので、サーバ本体添付のマニュアルを参照してください。

なお、AC-LINK は、サーバ機種により「After Power Failure」と記載されている場合があります。

## 6. 障害発生時には

障害発生時には、お手数ですが、以下の情報を採取してください。

- ESMPRO/AutomaticRunningController ログ
- イベントログ
- バージョン情報
- SNMP カードからの情報採取 (Smart-UPS LAN 制御の場合のみ)

### 6.1 ESMPRO/AutomaticRunningController ログ

#### (1) サーバのログ採取方法

##### ■ ESMPRO/AC GUI からのログ採取方法

サービスおよび GUI の動作不良のため、ESMPRO/AC GUI からの操作でログ採取できない場合があります。その場合は、後述の「■手動によるログ採取方法」を参照してください。

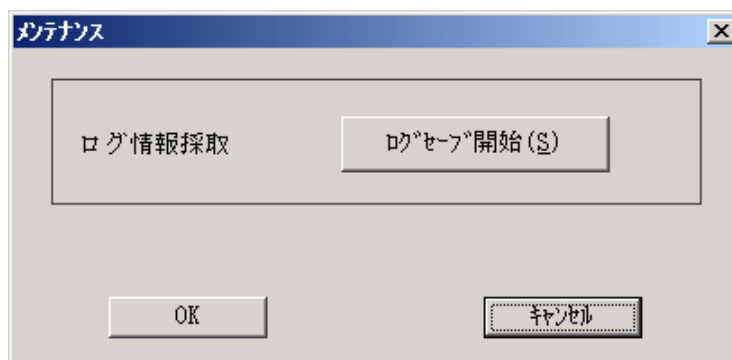
① ESMPRO/AutomaticRunningController メインメニューのサーバボタンを選択すると、以下のサーバ指定ダイアログが表示されます。



② サーバ指定ダイアログのサーバ名のところに、

ESM/PC MAINTe

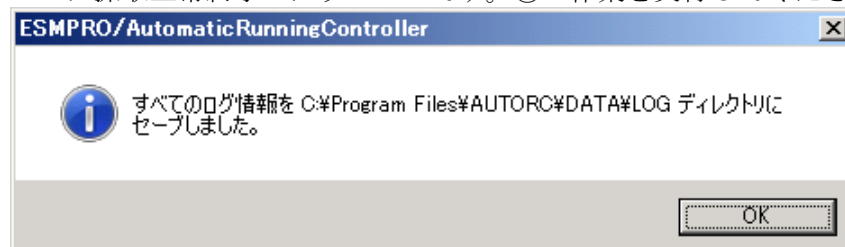
と入力し、OK ボタンを選択すると、以下のメンテナンスダイアログが表示されます。



- ③「ログセーブ開始(S)」ボタンを選択してください。ログ採取が開始されます。ログ採取が終了すると、以下のダイアログが表示されます。

#### ログ採取正常終了メッセージ

ログ採取正常終了のメッセージです。④の作業を実行してください。



#### ログ採取異常終了メッセージ



上記のエラーメッセージが表示された場合、既にログファイルが存在することが考えられます。ESMPRO/AutomaticRunningController インストールディレクトリ下の DATA¥LOG 下にログファイルが存在する場合は、ファイルを退避するか削除して、再度①からの操作をやり直してください。

- ④採取されたログのファイルは、ESMPRO/AutomaticRunningController インストールディレクトリ下の DATA¥LOG 下に置かれます。  
エクスプローラ等により、DATA¥LOG ディレクトリごと FD 等の媒体に採取してください。  
DATA¥LOG 下に採取されるファイルは、採取するタイミング／状態によって異なります。  
・スケジュールの有効期間が長い場合、登録するスケジュール項目が多い場合などは、ログファイルのサイズが大きくなります。

#### ■手動によるログ採取方法

- ①エクスプローラ等を使用してください。
- ②ESMPRO/AutomaticRunningController インストールディレクトリ¥data ディレクトリ下のすべてのファイルを採取してください。

#### (2) Client 監視を行っているクライアントのログ採取方法

Client 監視で不具合が発生した場合は、(1)のログの他に Client 監視機能をセットアップした Client 側のコンピュータから Client 監視機能インストールディレクトリ（規定値：CMODULE）下の下記情報ファイルを FD 等の媒体に採取してください。

ACNETSVR.LOG  
ACNETSV.APC  
CLIENTD.APC  
ONJOB0.APC  
:  
ONJOB7.APC

連動サーバ数によってファイル数が異なります。

## 6.2 イベントログ

### ◆Windows Server 2003 の場合

- ① [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [管理ツール] のイベントビューアを起動します。
- ② ツリーでアプリケーションログを表示させ、【操作】を指定し、【ログファイルの名前を付けて保存】を選択します。
- ③ ファイル名をつけて保存ダイアログが表示されたら、ファイル名エディットボックスにログセーブファイル名を入力して「保存ボタン」を選択してください。ログがセーブされます。
- ④ セーブしたファイルを FD 等の媒体に採取してください。
- ⑤ 同様にして、システム（ツリーでシステムログを指定）のイベントログも採取してください。

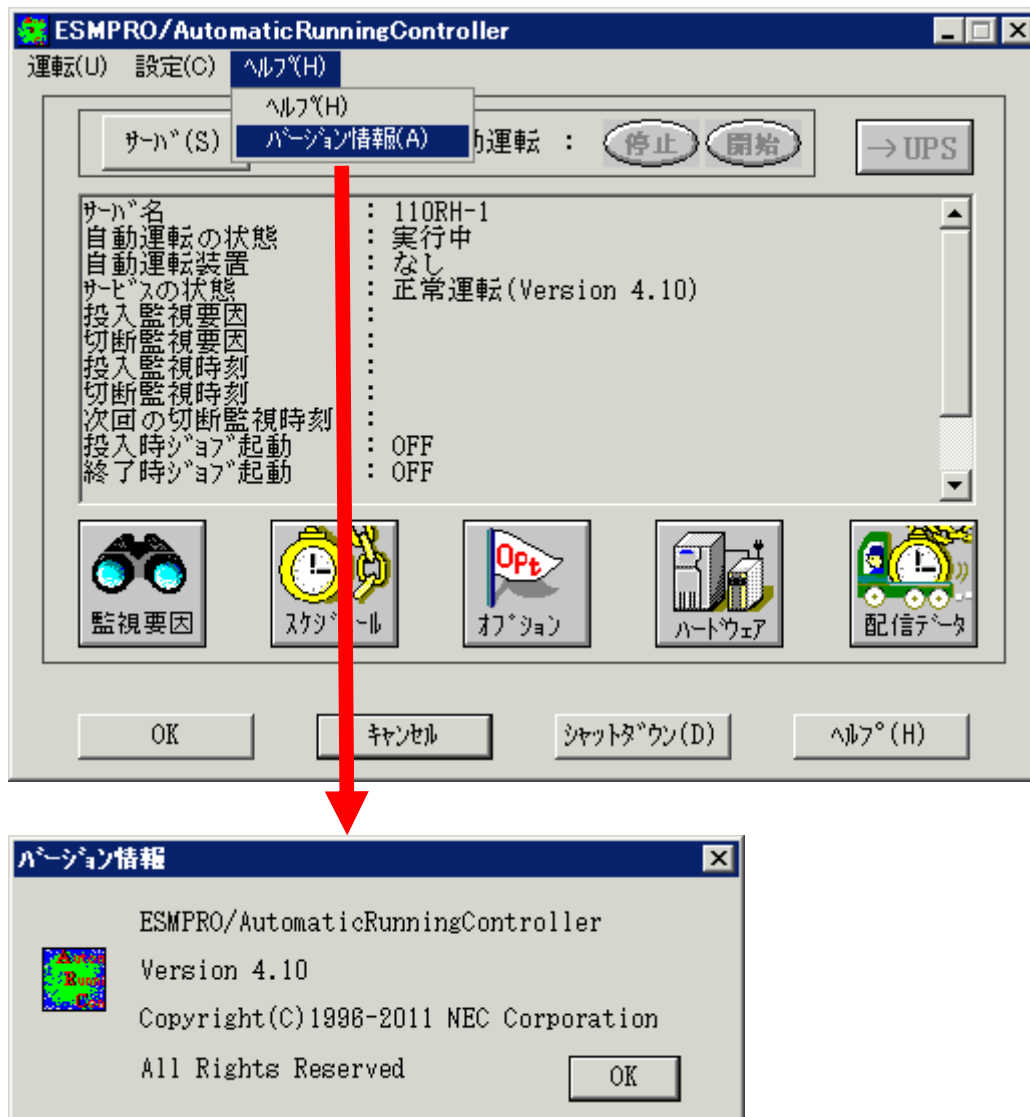
### ◆Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008 の場合

- ① [スタート] → [コントロールパネル] → [管理ツール] のイベントビューアを起動します。
- ② [Windows ログ] のツリーでアプリケーションログを表示させ、【操作】を指定し、【イベントに名前を付けて保存】を選択します。
- ③ ファイル名をつけて保存ダイアログが表示されたら、ファイル名エディットボックスにログセーブファイル名を入力して「保存」ボタンを選択してください。ログがセーブされます。
- ④ セーブしたファイルを FD 等の媒体に採取してください。
- ⑤ 同様にして、システム（ツリーでシステムログを指定）のイベントログも採取してください。

## 6.3 バージョン情報

障害発生時はログ以外に、アプリケーションのバージョン情報が必要です。  
ESMPRO/AutomaticRunningController のバージョン情報は、以下の手順で取得できます。

- (1) ESMPRO/AutomaticRunningController GUI を起動します。
- (2) メニューバーの「ヘルプ」 → 「バージョン情報」を選択すると、バージョン情報が表示されます。





## 6.4 SNMP カードからの情報採取

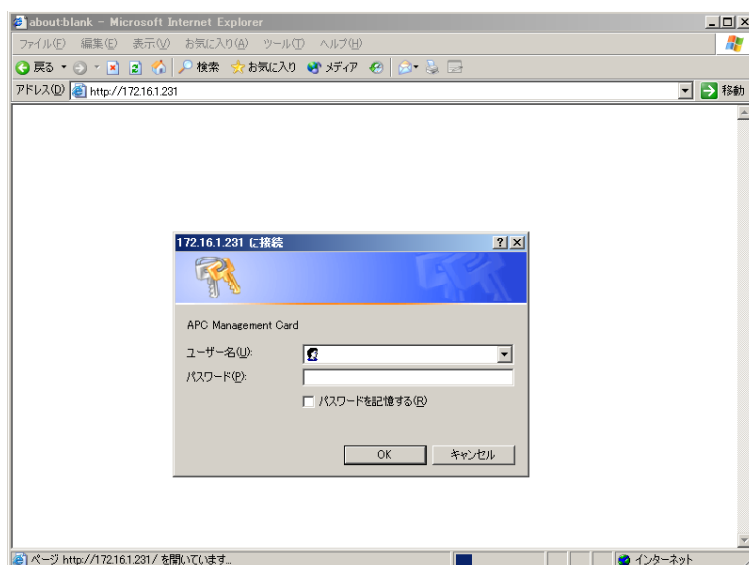
Smart-UPS を LAN 制御している場合、UPS 毎に下記情報を採取してください。

なお、ご使用の Internet Explorer バージョンおよび Internet Explorer の設定によっては、ファイルに保存する手順が一部異なる場合があります。手順の詳細はご使用の Internet Explorer のバージョンおよびヘルプ等をご確認ください。

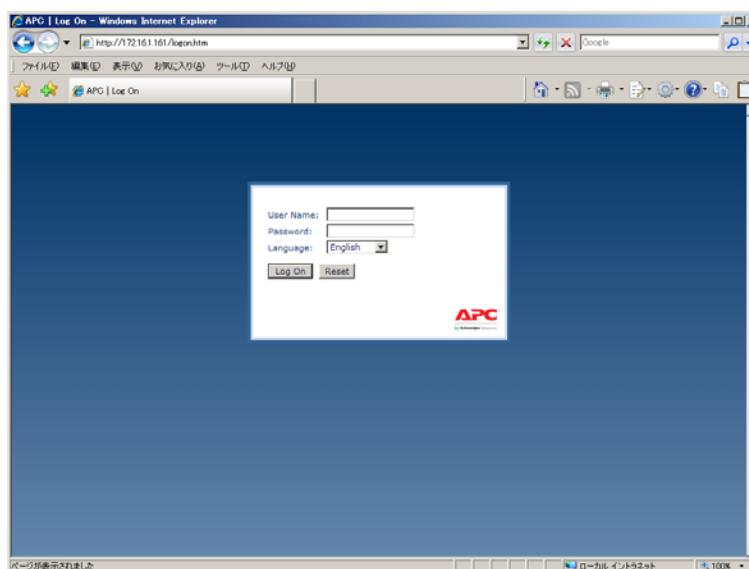
(A)の画面が表示された場合、「6.4.1 SNMPカードの情報 (A)」を参照してください。

(B)の画面が表示された場合、「6.4.2 SNMPカードの情報 (B)」を参照してください。

(A)



(B)



#### 6.4.1 SNMP カードの情報 (A)

WebでSNMPカードに接続し、以下の情報を採取します。

- ①ステータス情報
- ②イベントログ情報
- ③データログ情報
- ④Access Control情報

##### (1) SNMP カードへの接続方法

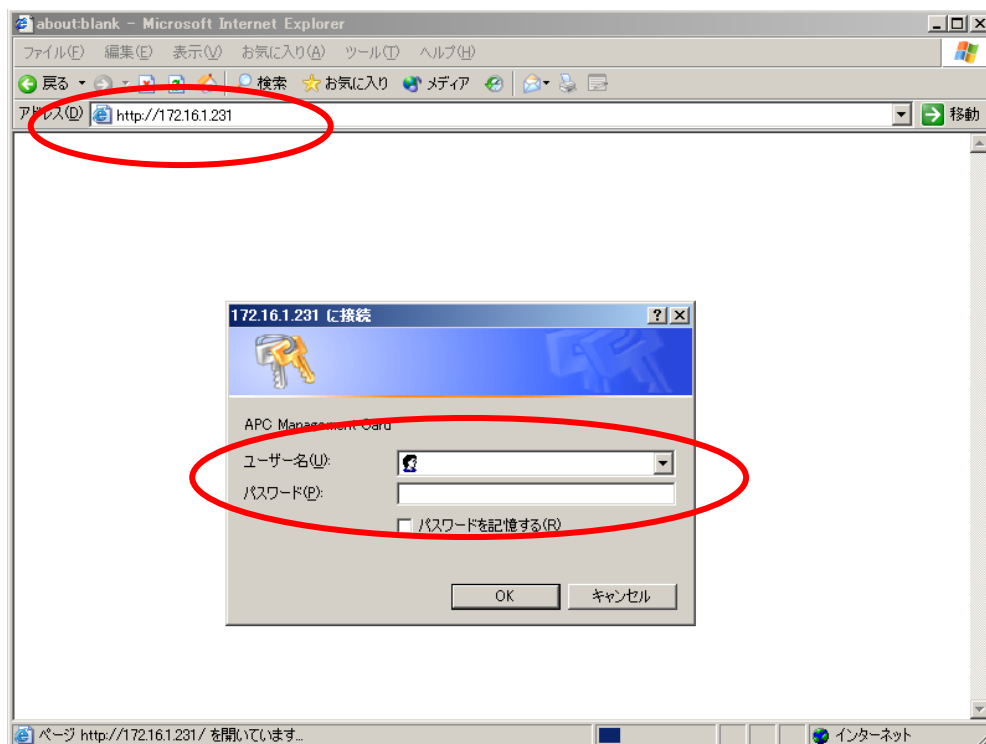
①ブラウザを起動し、SNMPカードに接続します。

下記のようにSNMPカードのIP Addressを指定するとSNMPカードのログオン画面が表示されます。

(ログを採取するSNMPカードのIP Addressが172.16.1.231の場合)

<http://172.16.1.231>

ユーザ名とパスワードを入力してログオンしてください。

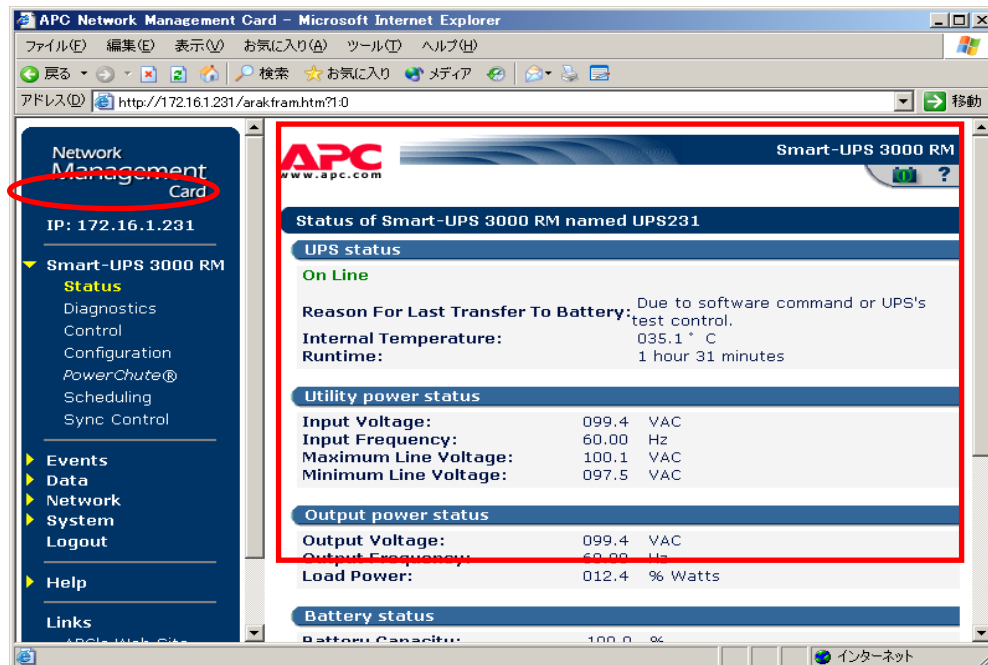


## (2) 情報の採取方法

### ①ステータス情報

左側のメニューで「Smart-UPSXXX」を選択し、「Status」を選択します。

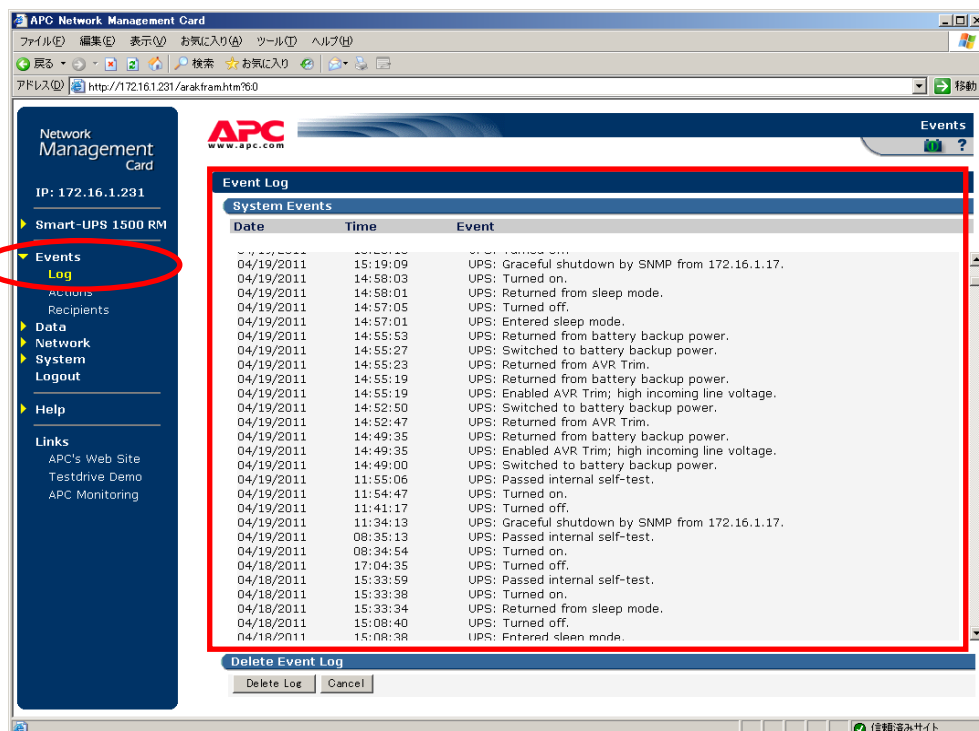
下記 Status 情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、情報をファイルに保存してください。



### ②イベントログ情報

左側のメニューで「Events」を選択し、「Log」を選択します。

下記 Event Log 情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、情報をファイルに保存してください。



### ③データログ情報

左側のメニューで「Data」を選択し、「Log」を選択します。

下記 Data Log 情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、情報をファイルに保存してください。

APC Network Management Card - Microsoft Internet Explorer

IP: 172.16.1.231

Smart-UPS 1500 RM

Events

**Data**

**Log**

Configuration

Network

System

Logout

Help

Links

APC's Web Site

Testdrive Demo

APC Monitoring

APC

www.apc.com

Data

Data Log

Device Data

Date	Time	Vmin	Vmax	Vout	%Wout	Freq	%Cap	Vbat	TupsC
04/25/2011	14:18:15	104.4	105.1	105.1	16.9	60.00	100.0	27.40	33.3
04/25/2011	14:08:15	104.4	105.8	105.1	16.2	60.00	100.0	27.40	33.3
04/25/2011	13:58:15	104.4	105.1	105.1	16.9	60.00	100.0	27.40	33.3
04/25/2011	13:48:15	104.4	105.8	105.1	16.9	60.25	100.0	27.40	32.8
04/25/2011	13:38:15	103.6	105.8	105.8	19.5	60.00	100.0	27.27	32.8
04/25/2011	13:28:15	103.6	104.4	104.4	16.9	60.00	100.0	27.40	32.4
04/25/2011	13:18:15	0.0	105.1	104.4	19.5	60.00	93.0	27.40	31.0
04/25/2011	13:08:15	0.0	105.1	99.6	6.5	60.00	90.0	24.84	32.4
04/25/2011	12:58:15	103.6	105.8	95.7	16.2	60.00	100.0	27.27	33.7
04/25/2011	12:48:15	103.6	105.1	95.0	16.9	60.00	100.0	27.27	33.7
04/25/2011	12:38:15	105.1	105.8	95.7	16.2	60.00	100.0	27.27	33.7
04/25/2011	12:28:15	104.4	105.8	96.4	16.9	60.00	100.0	27.27	34.2
04/25/2011	12:18:15	104.4	105.8	95.7	16.2	60.00	100.0	27.27	34.2
04/25/2011	12:08:15	104.4	105.8	95.7	16.9	60.00	100.0	27.27	34.2
04/25/2011	11:58:15	104.4	107.2	96.4	16.2	60.00	100.0	27.27	34.2
04/25/2011	11:48:15	104.4	107.2	95.7	17.5	60.00	100.0	27.27	34.2
04/25/2011	11:38:14	105.8	107.2	0.0	3.9	60.00	100.0	27.27	34.2
04/25/2011	11:28:14	105.8	107.2	0.0	3.9	60.00	100.0	27.27	34.2
04/25/2011	11:18:14	105.8	107.2	0.0	3.9	60.00	100.0	27.13	34.2
04/25/2011	11:08:14	105.1	106.5	0.0	3.9	60.00	100.0	27.27	34.2
04/25/2011	10:58:14	105.8	106.5	0.0	3.9	60.00	100.0	27.27	34.2
04/25/2011	10:48:14	105.8	107.2	0.0	3.9	60.00	100.0	27.27	34.2
04/25/2011	10:38:14	105.8	107.2	0.0	3.9	60.00	100.0	27.27	33.7
04/25/2011	10:28:14	105.1	107.2	0.0	3.9	60.00	100.0	27.27	33.3
04/25/2011	10:18:14	104.4	107.2	0.0	3.9	60.00	100.0	27.40	33.3
04/25/2011	10:08:14	105.8	107.2	0.0	3.9	60.25	100.0	27.40	33.3
04/25/2011	09:58:14	105.1	106.5	0.0	3.9	60.00	100.0	27.40	22.2

Delete Data Log

Delete Log Cancel

### ④Access Control情報

左側のメニューで「NetWork」を選択し、「SNMP」を選択します。

下記 Access Control 情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、情報をファイルに保存してください。

APC Network Management Card - Microsoft Internet Explorer

IP: 172.16.1.231

Smart-UPS 3000 RM

Events

Data

**Network**

TCP/IP

DNS

FTP Server

Telnet/SSH

**SNMP**

Email

Syslog

Web/SSL

WAP

System

Logout

Help

APC

www.apc.com

Network

SNMP

Access: Enabled

Apply Cancel

Access Control

Community Name	NMS IP/Domain Name	Access Type
public	172.16.1.1	Write+
public	0.0.0.0	Disabled
public	0.0.0.0	Disabled
public	0.0.0.0	Disabled

Apply Cancel

Configure the SNMP trap receivers.

## 6.4.2 SNMP カードの情報 (B)

WebでSNMPカードに接続し、以下の情報を採取します。

- ①ステータス情報
- ②イベントログ情報
- ③データログ
- ④access control情報

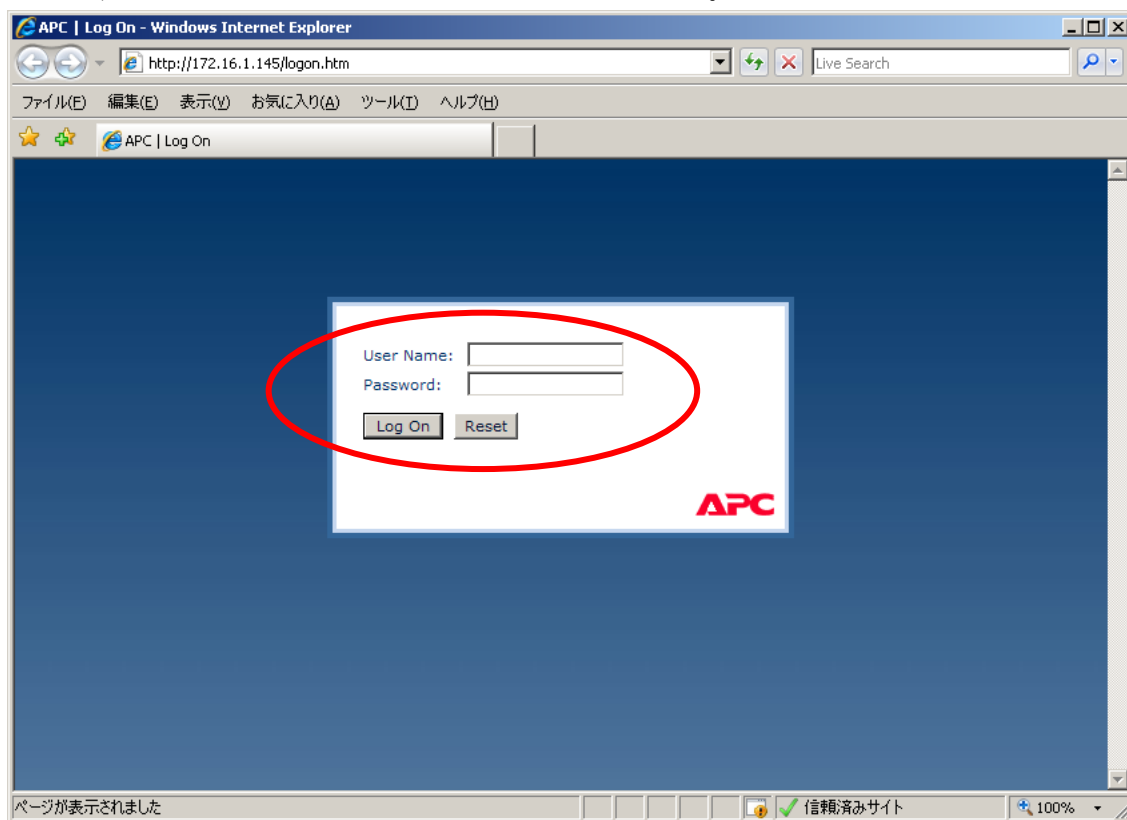
### (1) SNMP カードへの接続方法

- ①ブラウザを起動し、SNMPカードに接続します

下記のようにSNMPカードのIP addressを指定するとSNMPカードのログオン画面が表示されます。(ログを採取するSNMPカードのIP addressが172.16.1.145の場合)

<http://172.16.1.145>

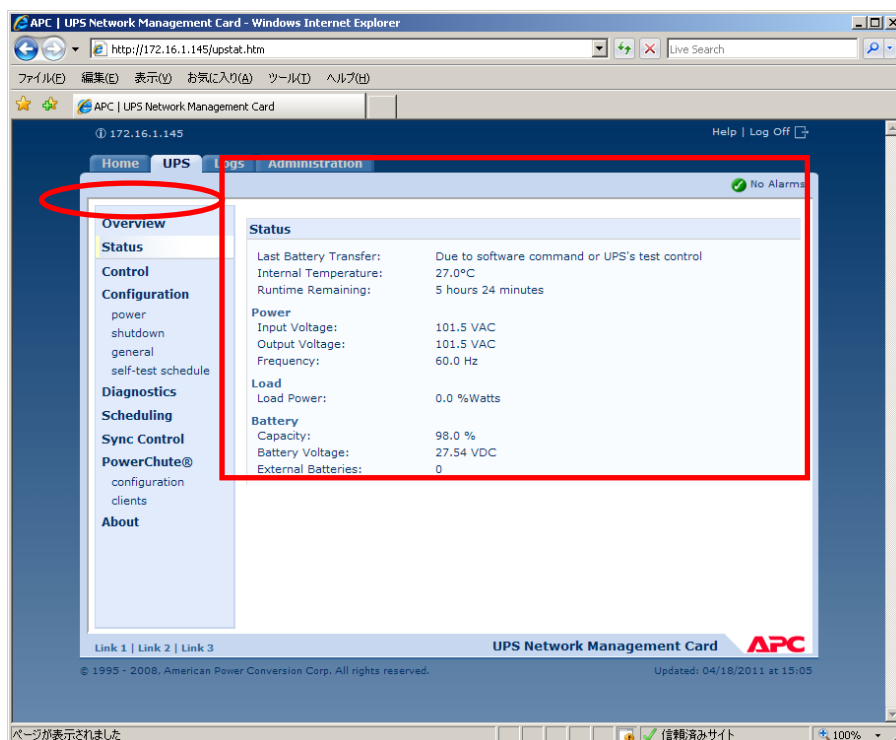
ユーザ名とパスワードを入力してログオンしてください。



## (2) 情報の採取方法

### ① ステータス情報

「UPS」タブを選択し、「Status」または「Detailed Status-> measurements」を選択します。  
下記 Status 情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、情報をファイルに保存してください。

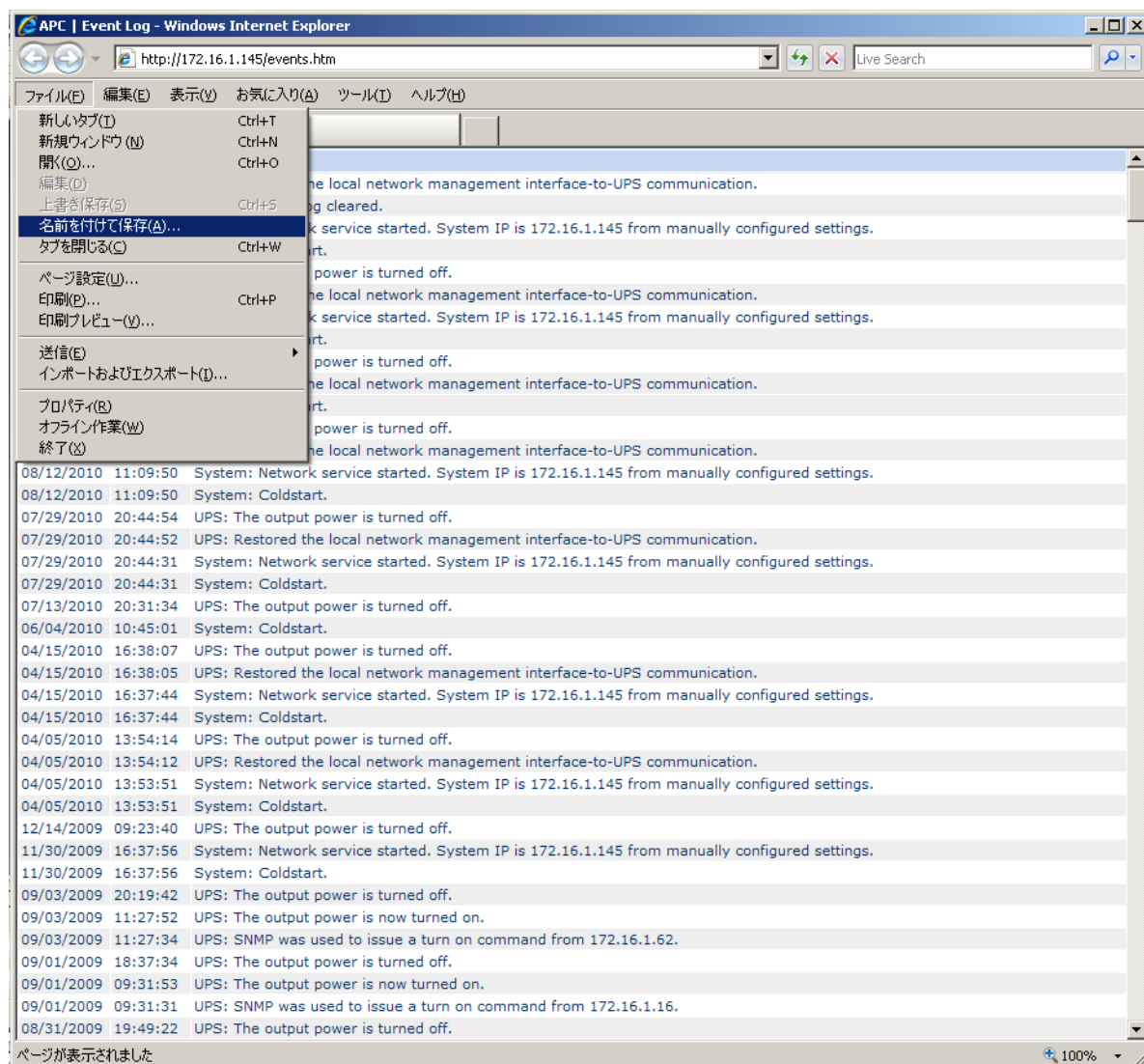


### ② イベントログ情報

「Logs」タブを選択し、「Events -> log」を選択します。  
Event log が表示されますので、Event log Filtering 画面の「Event time」プルダウンメニューから「All Logs」を選択し、「Apply」を選択します。



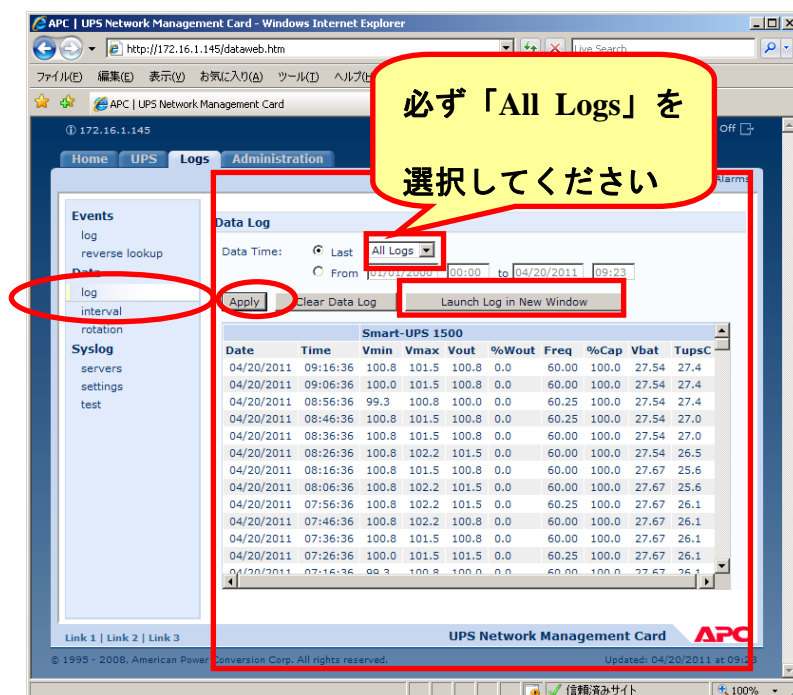
「Launch Log in New Window」 ボタンを押すと、新しい画面が立ち上がりますので、ブラウザのメニューから[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、ファイルの種類で「Web アーカイブ、単一のファイル (\*.mht)」形式または「Web ページ、完全 (\*.htm,\*.html)」形式を指定して保存してください。



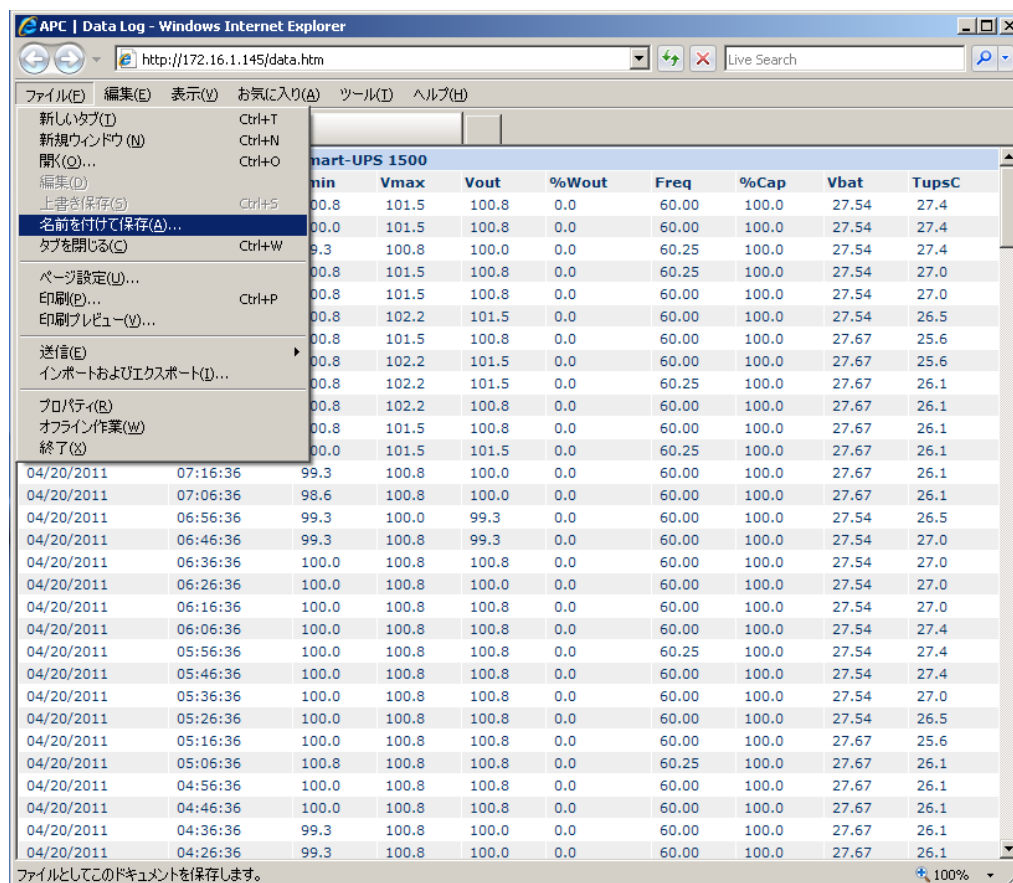
### ③ データログ情報

「Logs」タブを選択し、「Data -> log」を選択します。

Data log が表示されますので、「Data time」プルダウンメニューから「All Logs」を選択し、「Apply」を選択します。



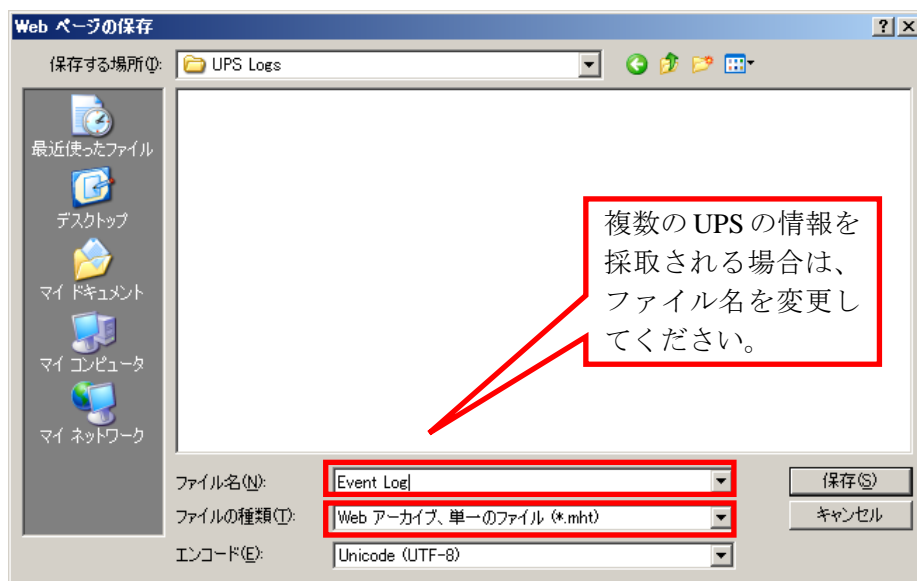
「Launch Log in New Window」ボタンを押すと、新しい画面が立ち上がりますので、ブラウザのメニューから[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、ファイルの種類で「Web アーカイブ、単一のファイル (\*.mht)」形式または「Web ページ、完全 (\*.htm,\*.html)」形式を指定して保存してください。





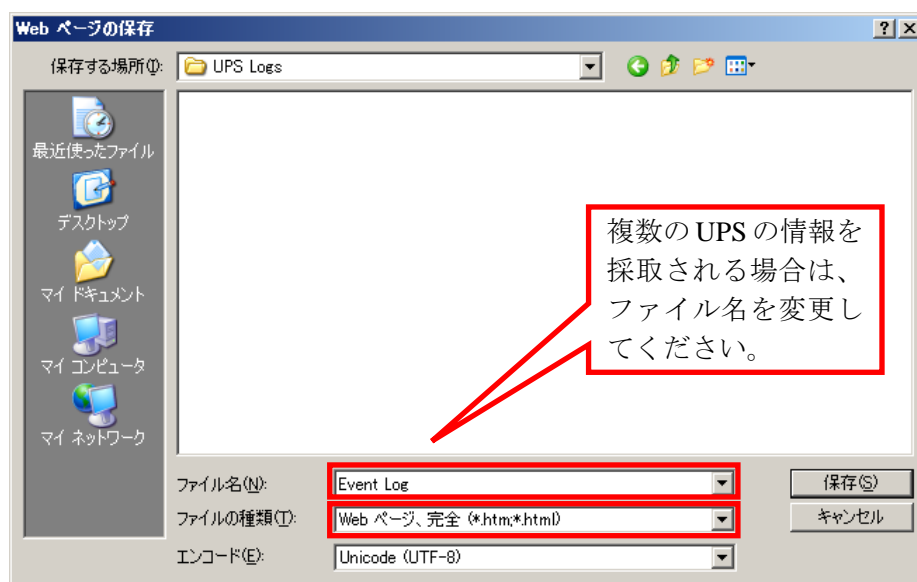
※②Logs -> Events -> log、③Logs -> Data -> log とともに、以下の方法で採取してください。

(保存方法その1)



「Web アーカイブ、単一のファイル (\*.mht)」形式で保存する場合は、保存されるファイルが\*.mht ファイルのみになりますので、通常はこちらを推奨致します。ただし、複数のUPSに関する情報を採取される場合は、ファイル名の頭に識別情報を付加するなどして、デフォルトのファイル名を変更して保存してください。

(保存方法その2)



「Webページ、完全 (\*.htm\*.html)」形式で保存する場合は、htmファイルとEvent Log.files\_という名前のフォルダが作成されますので、その両方を送付してください。ファイル名の頭に識別情報を付加するなどして、デフォルトのファイル名を変更して保存してください。

#### ④access control情報

「Administration」タブを選択し、「Network」→「access control」を選択します。

下記 Access Control 情報が表示されますので、メニューで[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択し、情報をファイルに保存してください。

The screenshot shows the APC UPS Network Management Card web interface in Internet Explorer. The browser address bar shows <http://172.16.1.145/snmpacc.htm>. The interface has a navigation menu on the left with categories: TCP/IP, Port Speed, DNS, Web, Console, SNMPv1, SNMPv3, FTP Server, and WAP. Under the SNMPv1 category, 'access control' is highlighted with a red circle. The main content area is titled 'Access Control' and contains a table with the following data:

Community Name	NMS IP/Host Name	Access Type
public	172.16.1.21	Write +
public	172.16.1.16	Write +
public	172.16.1.22	Disabled
public	172.16.1.66	Disabled

The table is also highlighted with a red rectangle. The footer of the interface includes 'UPS Network Management Card' and the APC logo. The browser status bar at the bottom shows 'ページが表示されました' and '信頼済みサイト'.